

---

---

# 防災意識調査結果報告書

<概要版>

---

---

平成25年10月

---

---

藍住町総務課危機管理室

---

---

# 目次

I	調査の概要	1
1	アンケート名	1
2	調査の目的	1
3	標本抽出の方法	1
4	標本数	1
5	調査期間	1
6	調査票の配付及び回収	1
7	調査項目	1
8	回収率	1
II	回答者の状況	2
1	性別	2
2	年齢	2
3	居住地	2
4	居住年数	3
5	世帯員数	3
III	調査結果	4
1	防災に対する関心度	4
2	災害に対する不安	6
3	防災対策	10
4	自主防災組織	13
5	防災に関する知識	20
6	災害情報の入手方法	22
7	緊急地震速報	23
8	藍住町に望む防災対策	29
9	防災に関する自由意見	32
IV	まとめ	53
V	参考資料（調査票・回答用紙）	55

# I 調査の概要

## 1 アンケート名

藍住町防災意識調査

## 2 調査の目的

防災に関する各種計画の策定や施策の方向性を検討するための基礎資料の収集を目的に実施した。

## 3 標本抽出の方法

### (1) 抽出方法

住民基本台帳（母集団）から系統抽出法により標本を抽出

### (2) 抽出に係る年齢の条件

20歳以上（平成25年4月1日現在）

## 4 標本数

2,000票

## 5 調査期間

平成25年8月30日（金）～9月17日（火）

## 6 調査票の配付及び回収

配付及び回収は郵送により実施した。

## 7 調査項目

### (1) 属性

性別、年齢、居住地区、居住年数、世帯員数

### (2) 設問

①防災に対する関心度

②災害に対する不安

③防災対策

④自主防災組織

⑤防災に関する知識

⑥災害情報の入手方法

⑦緊急地震速報

⑧藍住町に望む防災対策

⑨防災に関する自由意見

## 8 回収率

配付数	2,000
回答数	742
回収率	37.1%

## II 回答者の状況

### 1 性別

	回答数	回答率
男 性	361	48.7%
女 性	378	50.9%
無効・無回答	3	0.4%
合 計	742	100.0%

### 2 年齢

	回答数	回答率
20歳～24歳	16	2.2%
25歳～29歳	31	4.2%
30歳～34歳	51	6.9%
35歳～39歳	72	9.7%
40歳～44歳	59	8.0%
45歳～49歳	51	6.9%
50歳～54歳	56	7.5%
55歳～59歳	64	8.6%
60歳～64歳	109	14.7%
65歳～69歳	93	12.5%
70歳～74歳	66	8.9%
75歳～79歳	31	4.2%
80歳以上	42	5.7%
無効・無回答	1	0.1%
合 計	742	100.0%

### 3 居住地

	回答数	回答率
奥野	97	13.1%
徳命	79	10.6%
富吉	77	10.4%
東中富	68	9.2%
乙瀬	58	7.8%
笠木	25	3.4%
勝瑞	136	18.3%
住吉	104	14.0%
矢上	97	13.1%
無効・無回答	1	0.1%
合 計	742	100.0%

#### 4 居住年数

	回答数	回答率
1年未満	16	2.2%
1年以上5年未満	55	7.4%
5年以上10年未満	61	8.2%
10年以上15年未満	47	6.3%
15年以上20年未満	63	8.5%
20年以上25年未満	72	9.7%
25年以上30年未満	71	9.6%
30年以上	355	47.8%
無効・無回答	2	0.3%
合計	742	100.0%

#### 5 世帯員数

	回答数	回答率
1人	56	7.5%
2人	220	29.6%
3人	179	24.1%
4人	174	23.5%
5人	63	8.5%
6人	25	3.4%
7人以上	22	3.0%
無効・無回答	3	0.4%
合計	742	100.0%

### Ⅲ 調査結果

#### 1 防災に対する関心度

##### Q 1 あなたは防災について関心がありますか。

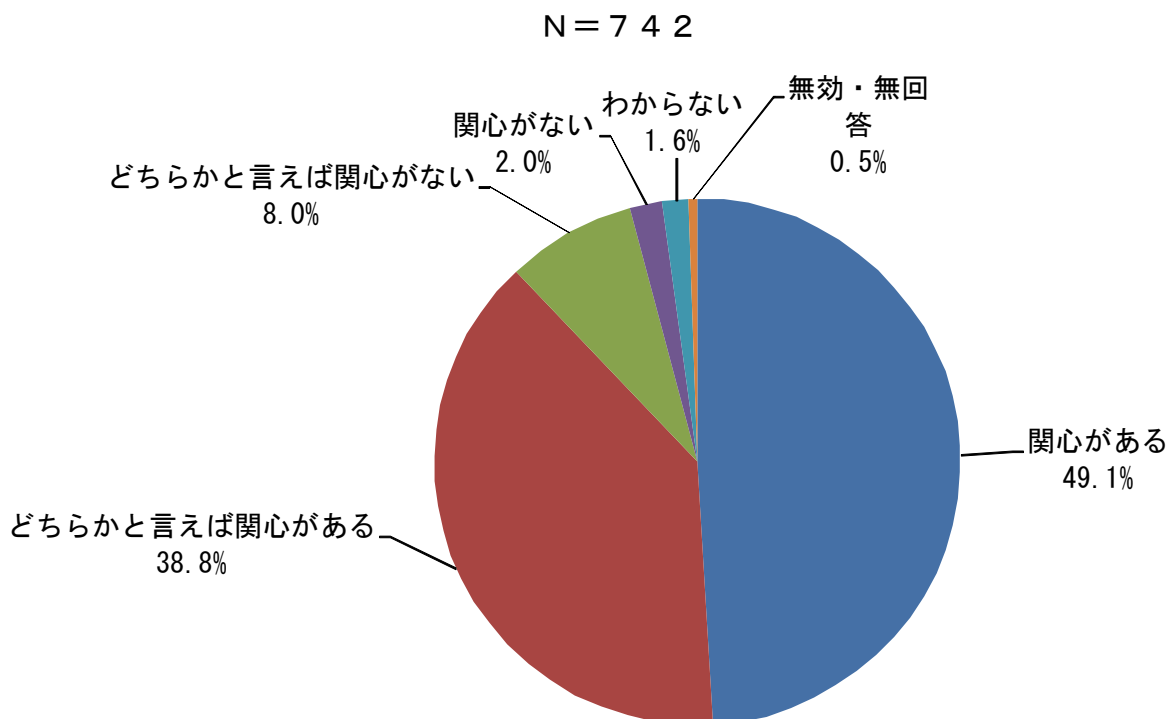
この質問は防災に対する関心度を調査した。

調査結果では「関心がある」と回答した者が最も多く、全体の49.1%（364人）を占めた。次いで、「どちらかと言えば関心がある」と回答した者が38.8%（288人）であった。

「関心がある」「どちらかと言えば関心がある」と回答した者の合計は87.9%（652人）であり、「関心がない」「どちらかと言えば関心がない」と回答した者の合計である10.0%（74人）を大きく上回る結果となっている。

(S A)

	回答数	回答率
関心がある	364	49.1%
どちらかと言えば関心がある	288	38.8%
どちらかと言えば関心がない	59	8.0%
関心がない	15	2.0%
わからない	12	1.6%
無効・無回答	4	0.5%
合 計	742	100.0%



## Q2 東日本大震災以降から現在まで、あなたの防災意識はどのように変化していますか。

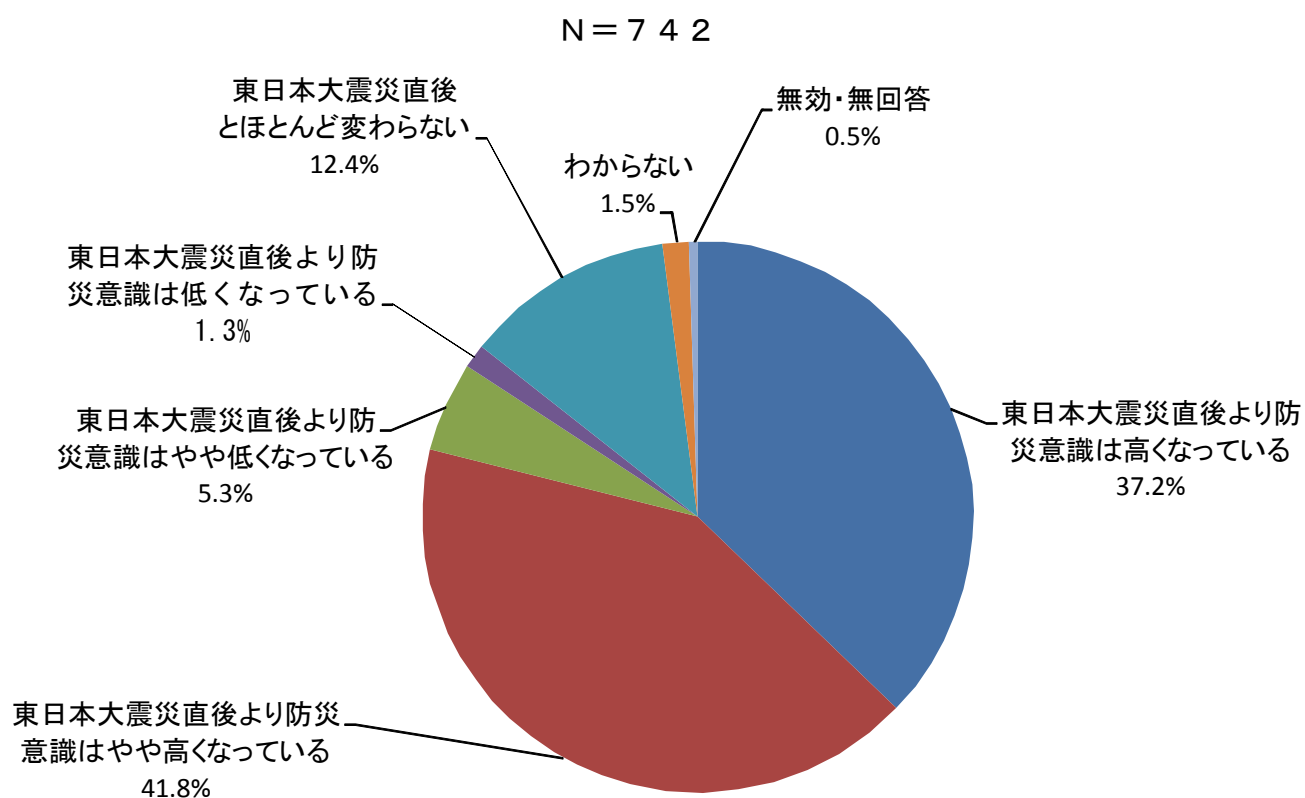
この質問は東日本大震災以降の防災意識の変化を調査した。

調査結果では「防災意識はやや高くなっている」と回答した者が最も多く、全体の41.8%（310人）を占めた。次いで、「防災意識は高くなっている」と回答した者が37.2%（276人）であった。

「防災意識は高くなっている」「やや高くなっている」と回答した者の合計は79.0%（586人）であり、「防災意識は低くなっている」「やや低くなっている」と回答した者の合計である6.6%（49人）を大きく上回る結果となっている。

(SA)

	回答数	回答率
東日本大震災直後より防災意識は高くなっている	276	37.2%
東日本大震災直後より防災意識はやや高くなっている	310	41.8%
東日本大震災直後より防災意識はやや低くなっている	39	5.3%
東日本大震災直後より防災意識は低くなっている	10	1.3%
東日本大震災直後とほとんど変わらない	92	12.4%
わからない	11	1.5%
無効・無回答	4	0.5%
合計	742	100.0%



## 2 災害に対する不安

### Q3 あなたが不安を感じる災害は何ですか。

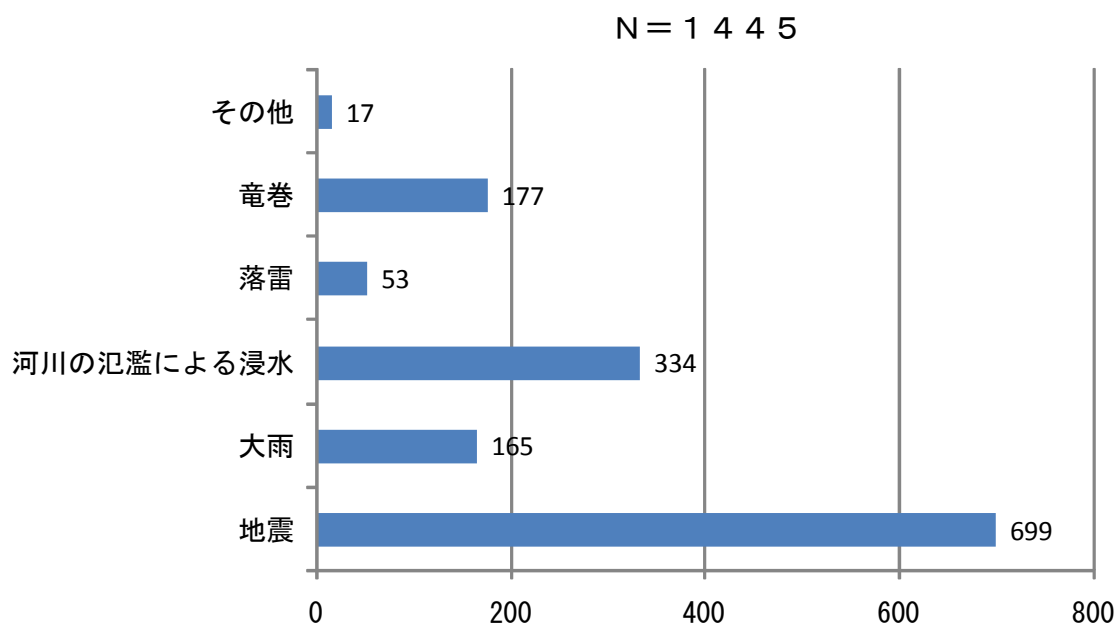
この質問は不安を感じる災害について調査した。

回答者は該当する災害を2つまで回答した。

調査結果では「地震」と回答した者が最も多く、699人であった。次いで、「河川の氾濫による浸水」と回答した者が334人であった。一方、最も少なかったのは「落雷」で53人であった。

(MA)

	回答数
地震	699
大雨	165
河川の氾濫による浸水	334
落雷	53
竜巻	177
その他	17
合計	1,445





<その他の回答>

ID	Q3その他
2	地震による火災
43	台風による災害
103	津波
112	津波
130	津波
190	津波
217	台風による大風
280	地盤の液状化（藍住町は土地が粘土質！？とか聞いたので）
294	台風時の風害
345	津波
438	津波
495	火災
559	小松島にいる娘家族、親類の事（津波）
571	液状化による各種被害
588	台風
628	津波（地震による）

## Q4 南海トラフの巨大地震が発生した場合にあなたが不安と感ずることとは何ですか。

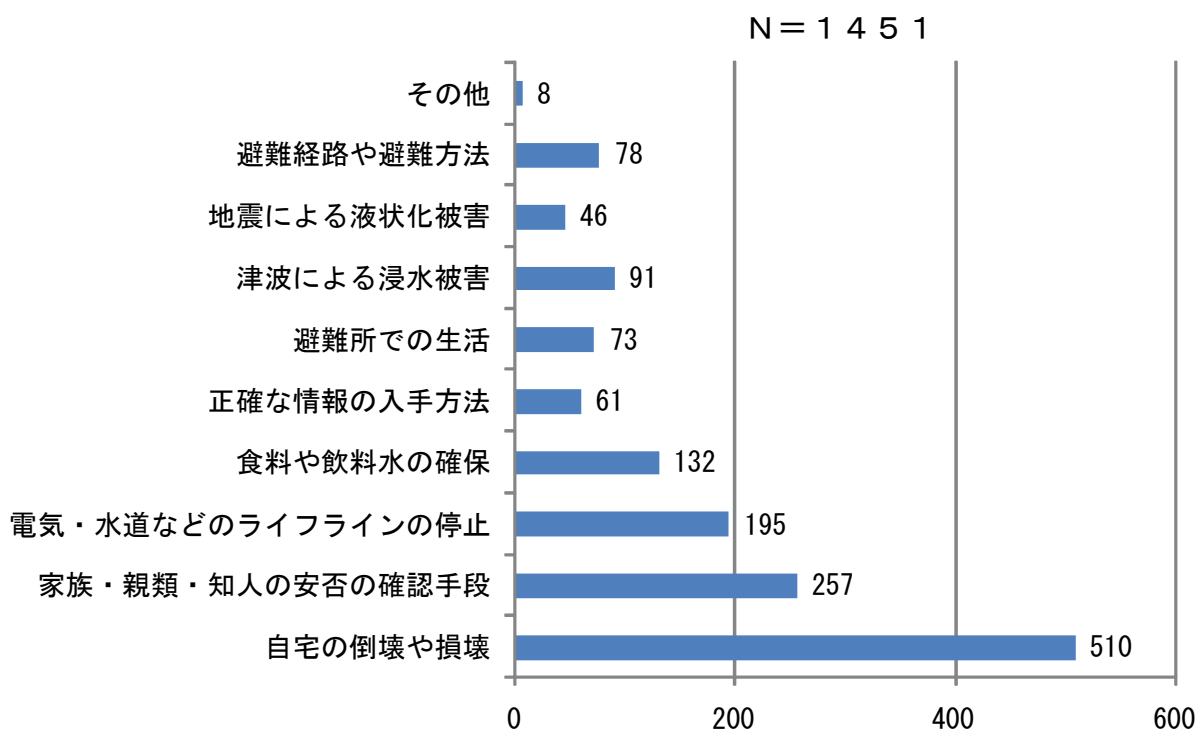
この質問は災害発生時に不安と感ずることを調査した。

回答者は該当する不安を2つまで回答した。

調査結果では「自宅の倒壊や損壊」と回答した者が最も多く、510人であった。次いで、「家族・親類・知人の安否の確認手段」と回答した者が257人であった。一方、最も少なかったのは「地震による液状化被害」で46人であった。

(MA)

	回答数
自宅の倒壊や損壊	510
家族・親類・知人の安否の確認手段	257
電気・水道などのライフラインの停止	195
食料や飲料水の確保	132
正確な情報の入手方法	61
避難所での生活	73
津波による浸水被害	91
地震による液状化被害	46
避難経路や避難方法	78
その他	8
合 計	1,451



<その他の回答>

ID	Q4その他
30	家族の安全
108	避難場所でのペット（犬・猫）の扱い。
122	2つまで選択するのは難しいです。すべて該当します。
368	生命、知人の生命
461	ペットがいるので避難所には行けないかもしれない。
534	災害後の生活
561	毎日、服用しなければいけない薬が入手できるか否か。
700	犬を飼っているので一緒に避難できるか？

### 3 防災対策

#### Q5 あなたは防災対策に取り組んでいますか。

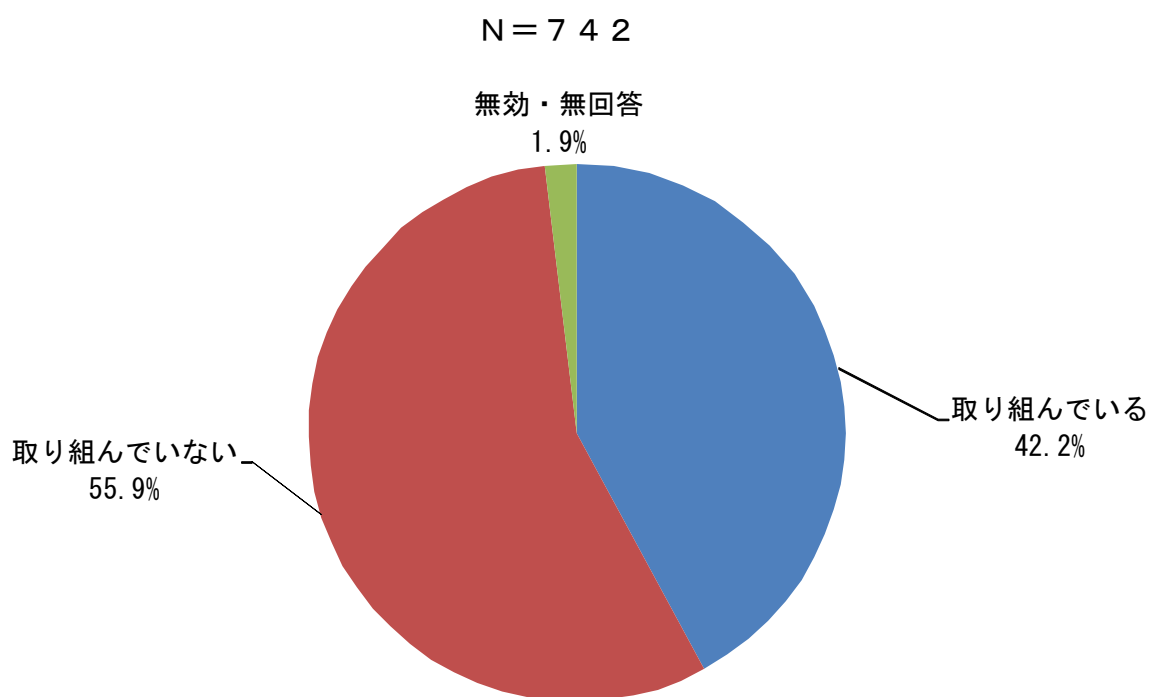
この質問は防災に対する取組状況を調査した。

調査結果では「取り組んでいる」と回答した者が全体の42.2%（313人）、一方「取り組んでいない」と回答した者は55.9%（415人）であった。

比較では「取り組んでいない」と回答した者が「取り組んでいる」と回答した者を13.7ポイント上回る結果となっている。

(S A)

	回答数	回答率
取り組んでいる	313	42.2%
取り組んでいない	415	55.9%
無効・無回答	14	1.9%
合 計	742	100.0%



N = 724

## Q 6 あなたが取り組んでいる防災対策を教えてください。

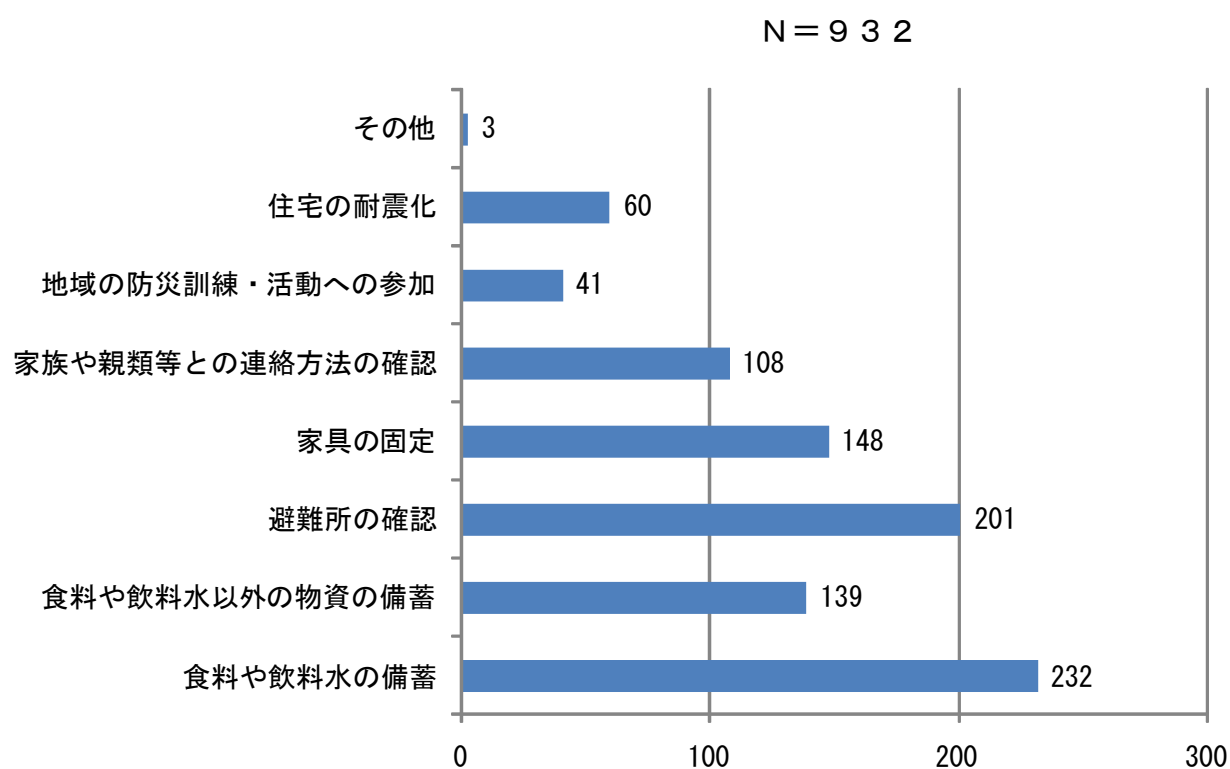
この質問はQ 5で防災対策に「取り組んでいる」と回答した313人を対象に、その取組内容を調査した。

回答者は該当する取組内容を全て回答した。

調査結果では「食料や飲料水の備蓄」と回答した者が最も多く、232人であった。次いで、「避難所の確認」と回答した者が201人であった。一方、最も少なかったのは「地域の防災訓練・活動への参加」で41人であった。

(MA)

	回答数
食料や飲料水の備蓄	232
食料や飲料水以外の物資の備蓄	139
避難所の確認	201
家具の固定	148
家族や親類等との連絡方法の確認	108
地域の防災訓練・活動への参加	41
住宅の耐震化	60
その他	3
合 計	932



<その他の回答>

ID	Q6その他
124	避難用具（テント、コンロ等）
253	携帯電話の安否確認

#### 4 自主防災組織

##### Q7 あなたは自主防災組織とは何であるかを知っていますか。

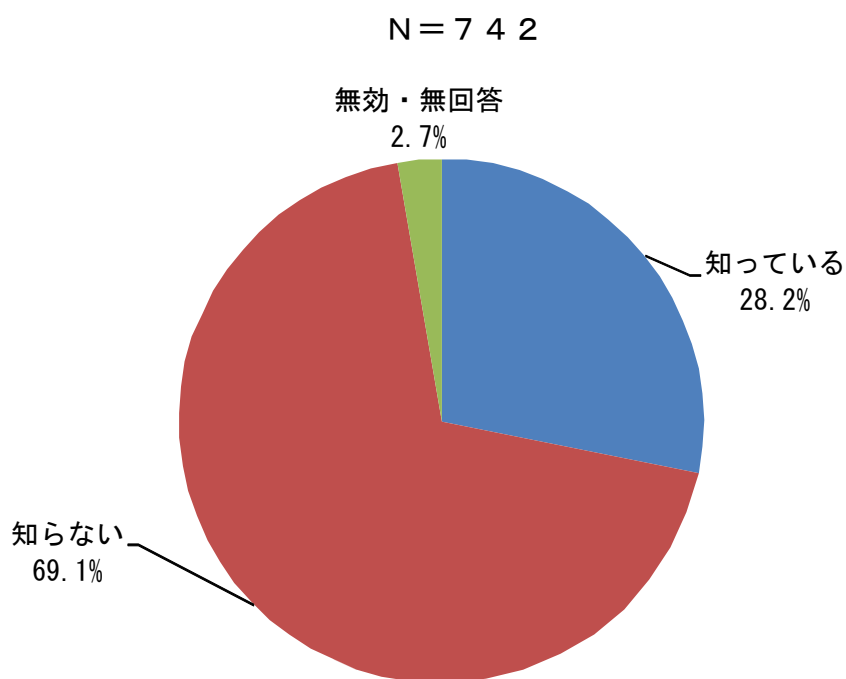
この質問は自主防災組織の周知度を調査した。

調査結果では「知っている」と回答した者が全体の28.2%（209人）、一方「知らない」と回答した者が69.1%（513人）であった。

比較では「知らない」と回答した者が「知っている」と回答した者を40.9ポイント上回る結果となっている。

(S A)

	回答数	回答率
知っている	209	28.2%
知らない	513	69.1%
無効・無回答	20	2.7%
合 計	742	100.0%



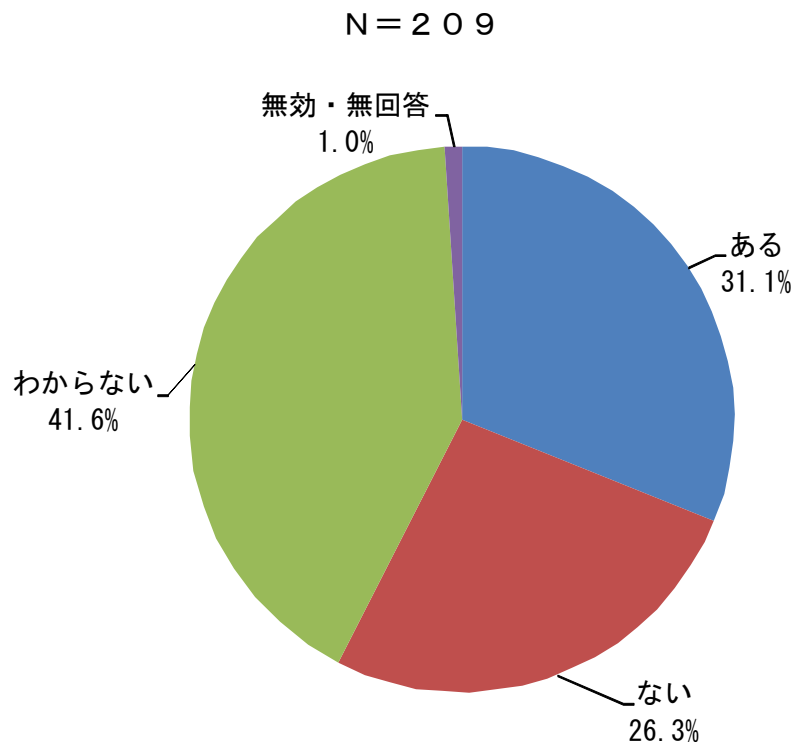
## Q 8 あなたが住んでいる地域に自主防災組織はありますか。

この質問はQ 7で「自主防災組織を知っている」と回答した209人を対象に自主防災組織の設置状況を調査した。

調査結果では「地域内に自主防災組織がある」と回答した者が31.1%（65人）で、「地域内に自主防災組織がない」と回答した者が26.3%（55人）あった。また、「わからない」と回答した者は41.6%（87人）であった。

(S A)

	回答数	回答率
ある	65	31.1%
ない	55	26.3%
わからない	87	41.6%
無効・無回答	2	1.0%
合 計	209	100.0%





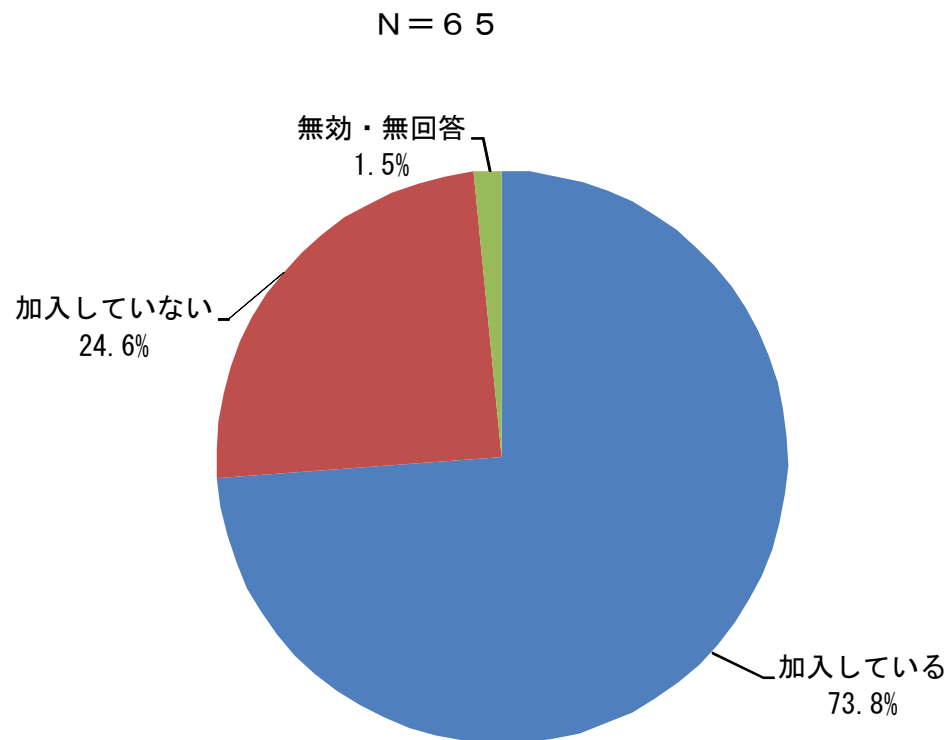
## Q9 現在、あなたは地域の自主防災組織に加入していますか。

この質問はQ8で「地域内に自主防災組織がある」と回答した65人を対象に自主防災組織への加入状況を調査した。

調査結果では「地域内の自主防災組織に加入している」と回答した者が73.8%（48人）で、「地域内の自主防災組織に加入していない」と回答した者が24.6%（16人）あった。

(S A)

	回答数	回答率
加入している	48	73.8%
加入していない	16	24.6%
無効・無回答	1	1.5%
合計	65	100.0%



## Q10 あなたは地域の自主防災組織に何を期待しますか。

この質問はQ9で「地域内に自主防災組織に加入している」と回答した48人を対象に自主防災組織に対する期待を調査した。

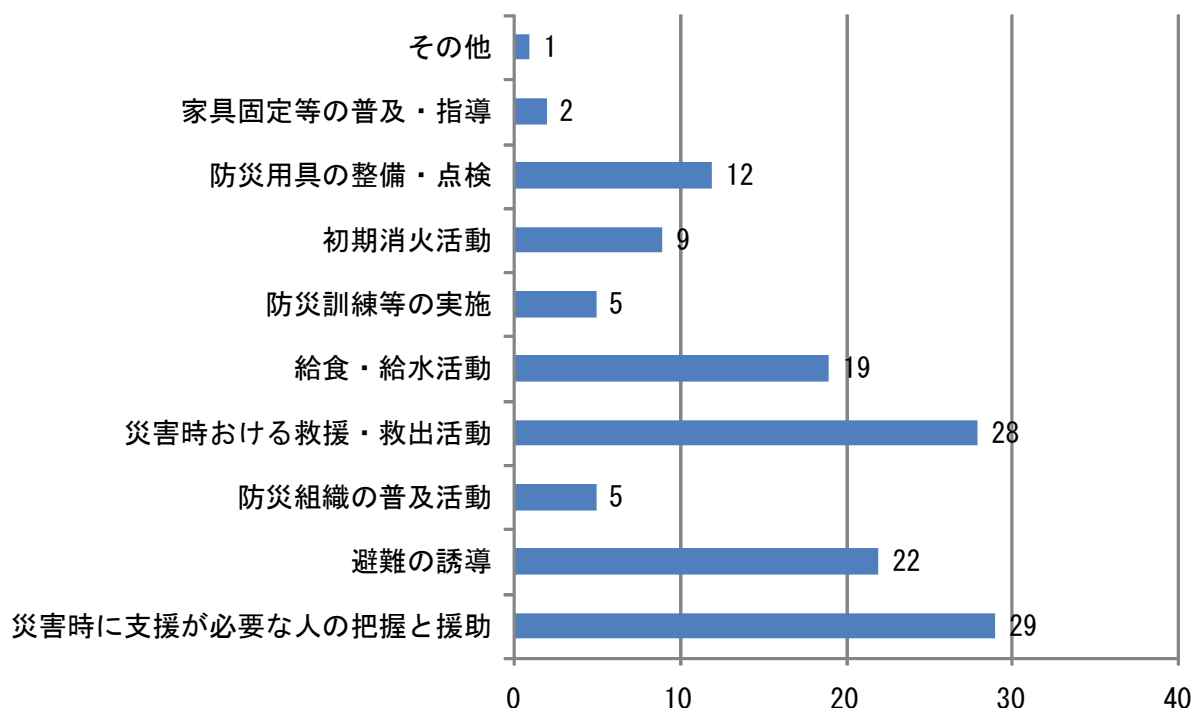
回答者は該当する期待している内容を3つまで回答した。

調査結果では「災害時に支援が必要な人の把握と援助」と回答した者が最も多く、29人であった。次いで、「災害時おける救援・救出活動」と回答した者が28人あった。一方、最も少なかったのは「家具固定等の普及・指導」で2人であった。

(MA)

	回答数
災害時に支援が必要な人の把握と援助	29
避難の誘導	22
防災組織の普及活動	5
災害時おける救援・救出活動	28
給食・給水活動	19
防災訓練等の実施	5
初期消火活動	9
防災用具の整備・点検	12
家具固定等の普及・指導	2
その他	1
合 計	132

N = 132



<その他の回答>

ID	Q10その他
338	班、自治体を問わず具体的な避難方法・避難経路を実際に訓練する。

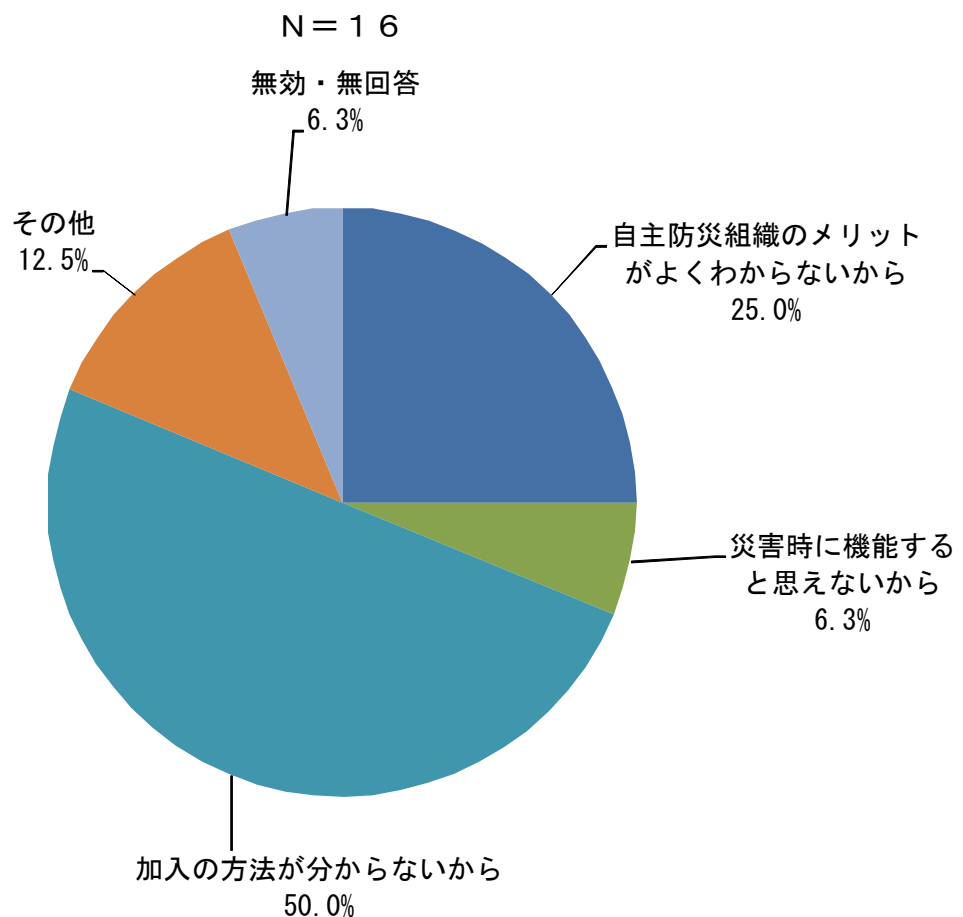
## Q 1 1 あなたが地域の自主防災組織に加入していない理由は何ですか。

この質問はQ 9で「地域の自主防災組織に加入していない」と回答した16人を対象に加入していない理由を調査した。

調査結果では「加入の方法が分からないから」と回答した者が最も多く、50.0%（8人）であった。次いで、「自主防災組織のメリットがよくわからないから」と回答した者が25.0%（4人）あった。

(S A)

	回答数	回答率
自主防災組織のメリットがよくわからないから	4	25.0%
近所付き合いがないから	0	0.0%
災害時に機能すると思えないから	1	6.3%
災害時に手助けを必要としないから	0	0.0%
加入の方法が分からないから	8	50.0%
その他	2	12.5%
無効・無回答	1	6.3%
合 計	16	100.0%



<その他の回答>

ID	Q11その他
318	現在体調くずし通院しているので、加入不可
678	あまり活動をしていないから

## 5 防災に関する知識

### Q 1 2 次の用語の意味や内容を知っていますか。

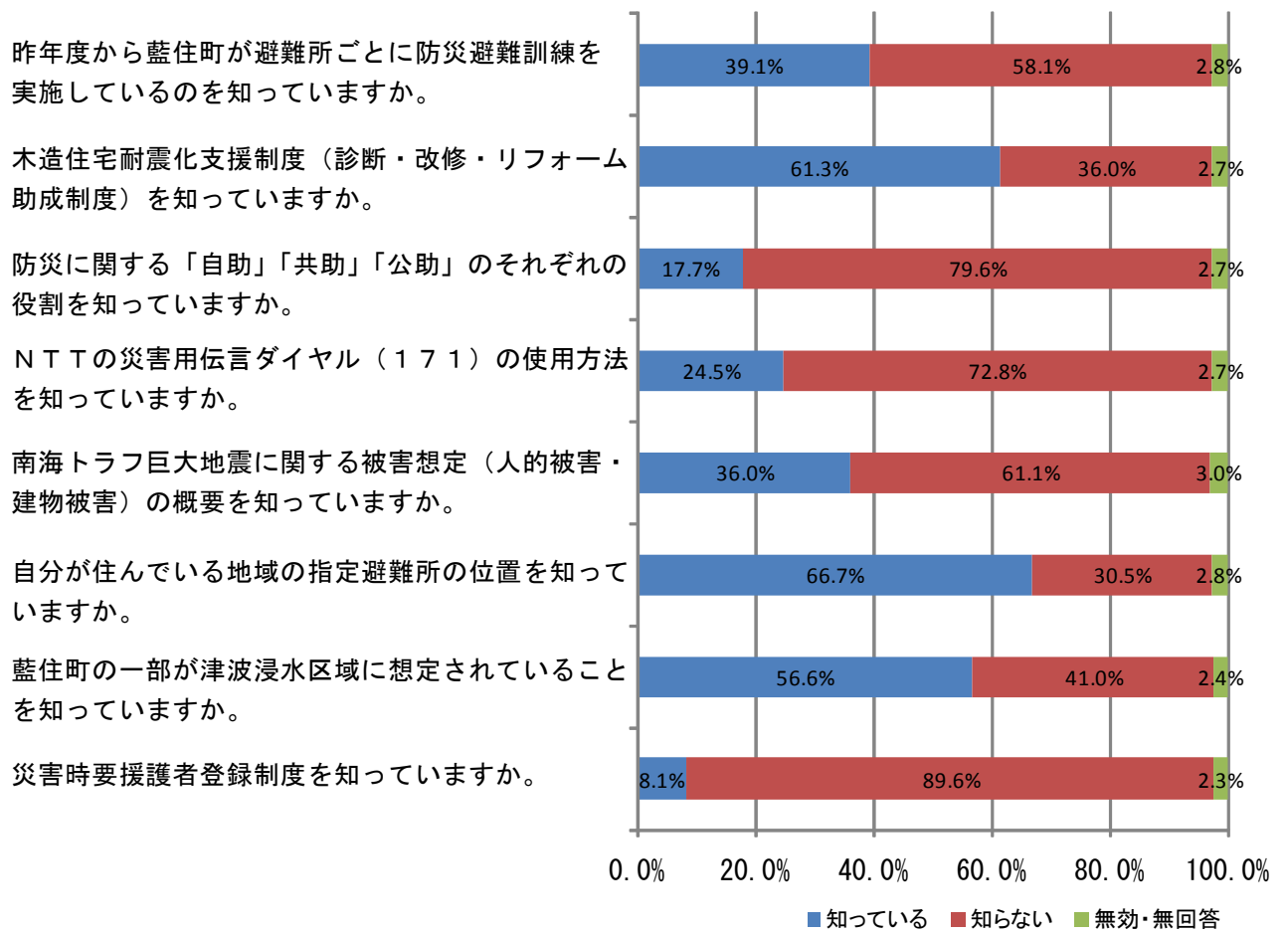
この質問は防災用語に対する周知度を調査した。

調査結果では「自分が住んでいる地域の指定避難所の位置を知っていますか」に対する周知度が最も高く、「知っている」と回答した者が66.7%（495人）であった。次いで、「木造住宅耐震化支援制度（診断・改修・リフォーム助成制度）を知っていますか」に対する周知度が61.3%（455人）であった。一方、周知度が最も低かったのは「災害時要援護者登録制度を知っていますか」との質問に対するもので、「知っている」と回答した者は8.1%（60人）であった。

(S A)

	知っている		知らない		無効・無回答		合計
	回答数	回答率	回答数	回答率	無回答数	無回答率	
災害時要援護者登録制度を知っていますか。	60	8.1%	665	89.6%	17	2.3%	742
藍住町の一部が津波浸水区域に想定されていることを知っていますか。	420	56.6%	304	41.0%	18	2.4%	742
自分が住んでいる地域の指定避難所の位置を知っていますか。	495	66.7%	226	30.5%	21	2.8%	742
南海トラフ巨大地震に関する被害想定（人的被害・建物被害）の概要を知っていますか。	267	36.0%	453	61.1%	22	3.0%	742
NTTの災害用伝言ダイヤル（171）の使用方法を知っていますか。	182	24.5%	540	72.8%	20	2.7%	742
防災に関する「自助」「共助」「公助」のそれぞれの役割を知っていますか。	131	17.7%	591	79.6%	20	2.7%	742
木造住宅耐震化支援制度（診断・改修・リフォーム助成制度）を知っていますか。	455	61.3%	267	36.0%	20	2.7%	742
昨年度から藍住町が避難所ごとに防災避難訓練を実施しているのを知っていますか。	290	39.1%	431	58.1%	21	2.8%	742

N = 7 4 2



## 6 災害情報の入手方法

### Q13 あなたの災害情報の入手方法を教えてください。

この質問は災害情報の入手方法を調査した。

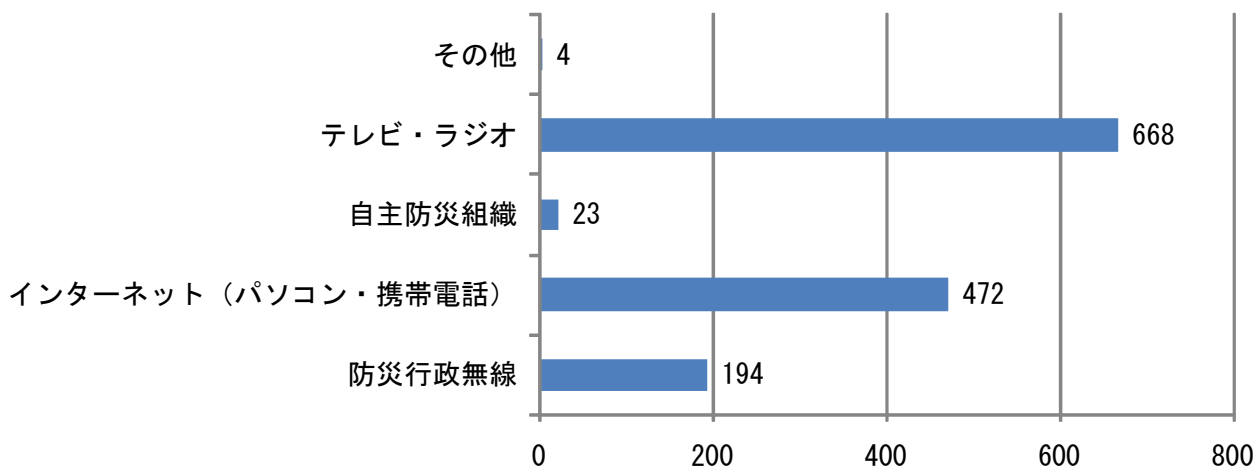
回答者は該当する入手方法を3つまで回答した。

調査結果では「テレビ・ラジオ」と回答した者が最も多く、668人であった。次いで、「インターネット（パソコン・携帯電話）」と回答した者が472人であった。一方、最も少なかったのは「自主防災組織」で23人であった。

(MA)

	回答数
防災行政無線	194
インターネット（パソコン・携帯電話）	472
自主防災組織	23
テレビ・ラジオ	668
その他	4
合計	1,361

N = 1361



#### <その他の回答>

ID	Q13その他
462	家族
532	知人
608	民生委員
735	会社からのメール



## 7 緊急地震速報

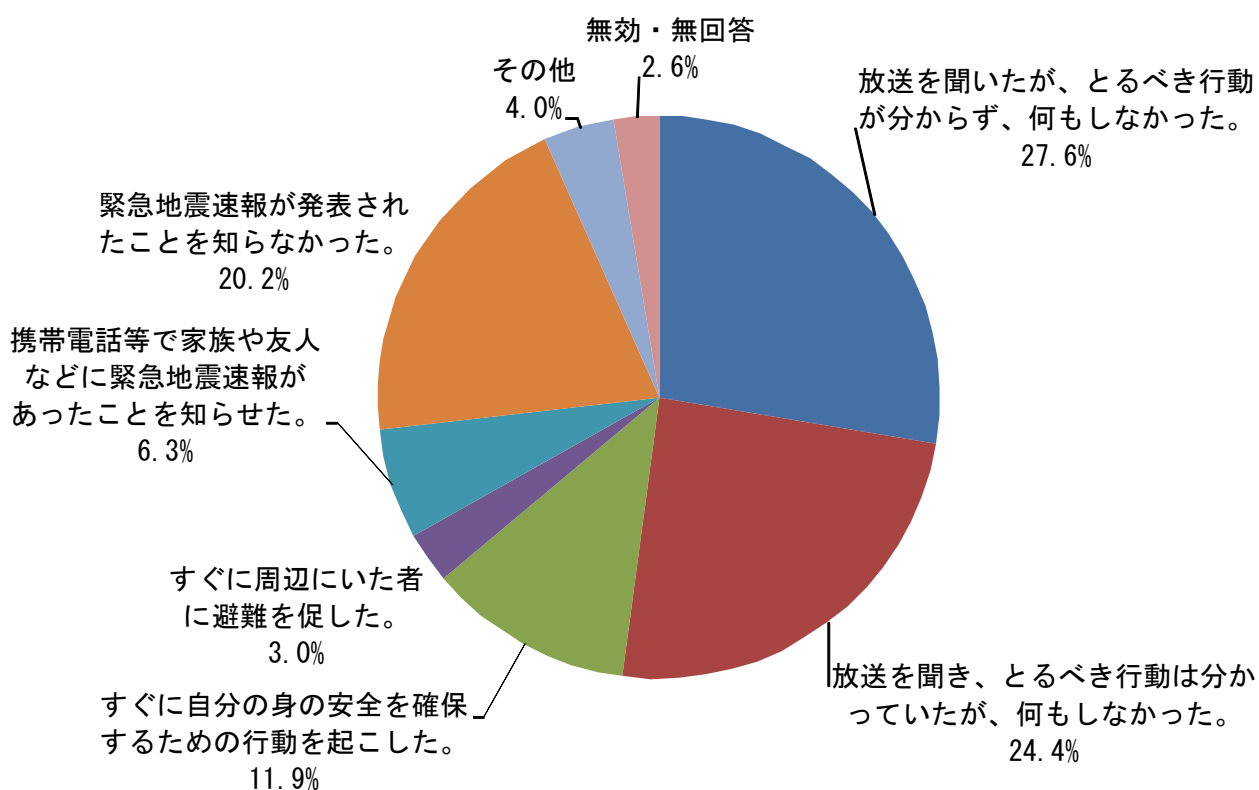
Q14 8月8日に気象庁の緊急地震速報が町防災行政無線、携帯電話のエリアメール、テレビ、ラジオ等を通じて発表されましたが、その放送等を見たり、聞いたりして、まず最初にあなたはどのような行動をとりましたか。

この質問は8月8日に発表された緊急地震速報を聞いて、回答者がとった行動を調査した。調査結果では「放送を聞いたが、とるべき行動が分からず、何もしなかった」と回答した者が最も多く、全体の27.6%（205人）を占めた。次いで、「放送を聞き、とるべき行動は分かっていたが、何もしなかった」と回答した者が24.4%（181人）であった。一方、最も少なかったのは「すぐに周辺にいた者に避難を促した」で3.0%（22人）であった。

(S A)

	回答数	回答率
放送を聞いたが、とるべき行動が分からず、何もしなかった。	205	27.6%
放送を聞き、とるべき行動は分かっていたが、何もしなかった。	181	24.4%
すぐに自分の身の安全を確保するための行動を起こした。	88	11.9%
すぐに周辺にいた者に避難を促した。	22	3.0%
携帯電話等で家族や友人などに緊急地震速報があったことを知らせた。	47	6.3%
緊急地震速報が発表されたことを知らなかった。	150	20.2%
その他	30	4.0%
無効・無回答	19	2.6%
合 計	742	100.0%

N = 742



<その他の回答>

ID	Q14その他
3	取るべき行動を確認し、次に備えて待機した。
70	火の始末をした後、次の情報を待った（TV）。
77	分かりません。テレビ、ラジオを使用。無しの時はどうするのか？
103	仕事だったので職場の支持を待っていた。
108	エリアメールが入らず、外出中していたので知らなかった。
160	当日は不在でした。
193	娘2人を抱きうずくまった。
239	スポーツボランティア大会で滋賀県のグラウンドでいたのでわからなかった。
244	仕事でどうすることもできなかった。

ID	Q14その他
264	テレビで情報入手しようとした。
283	友人と一緒にいて友人の携帯はエリアメールが届いたが、私の携帯には届かず半信半疑だったが一応避難準備をした。
312	家にいる家族の居場所の確認
355	身の安全を守る行動が必要と思ったが、何も起こらなかったので中止した。
457	徳島市内に行っていて聞いてびっくりしたが、早く家に帰る事を考えた。
512	情報の入手
549	速報が鳴ったので様子を見てたけど、揺れなかったので何もしなかった
575	①と似ていたが、「近くの車かな？」と気にしなかった。
620	すぐに自分と家族の安全を確保するために行動を起こし、家にいなくなった家族にメールをした。
621	テレビの緊急速報と身を感じる事にギャップを感じた。
622	職場で放送が流れ、来客者をしゃがませた。
644	テレビを見た。
665	放送を聞いたが様子を見ていた (テレビ他)
677	ダイニングに全員集まった。
728	奈良県でしたか・・・県外であったので何もしなかった。
730	職場にいて、社内放送は流れたが、訓練以外で鳴ったのが初めてだったので、訓練かと思った。数分後、本物と分かったが、上司の具体的な指示があるまで仕事を続けた。
733	より詳しい情報を求めた。

**Q15 8月8日の気象庁の緊急地震速報は町防災行政無線で町内全域に放送しましたが、その放送内容は聞き取れましたか。**

この質問は8月8日に町防災行政無線で放送した緊急地震速報の聞き取り状況を調査した。

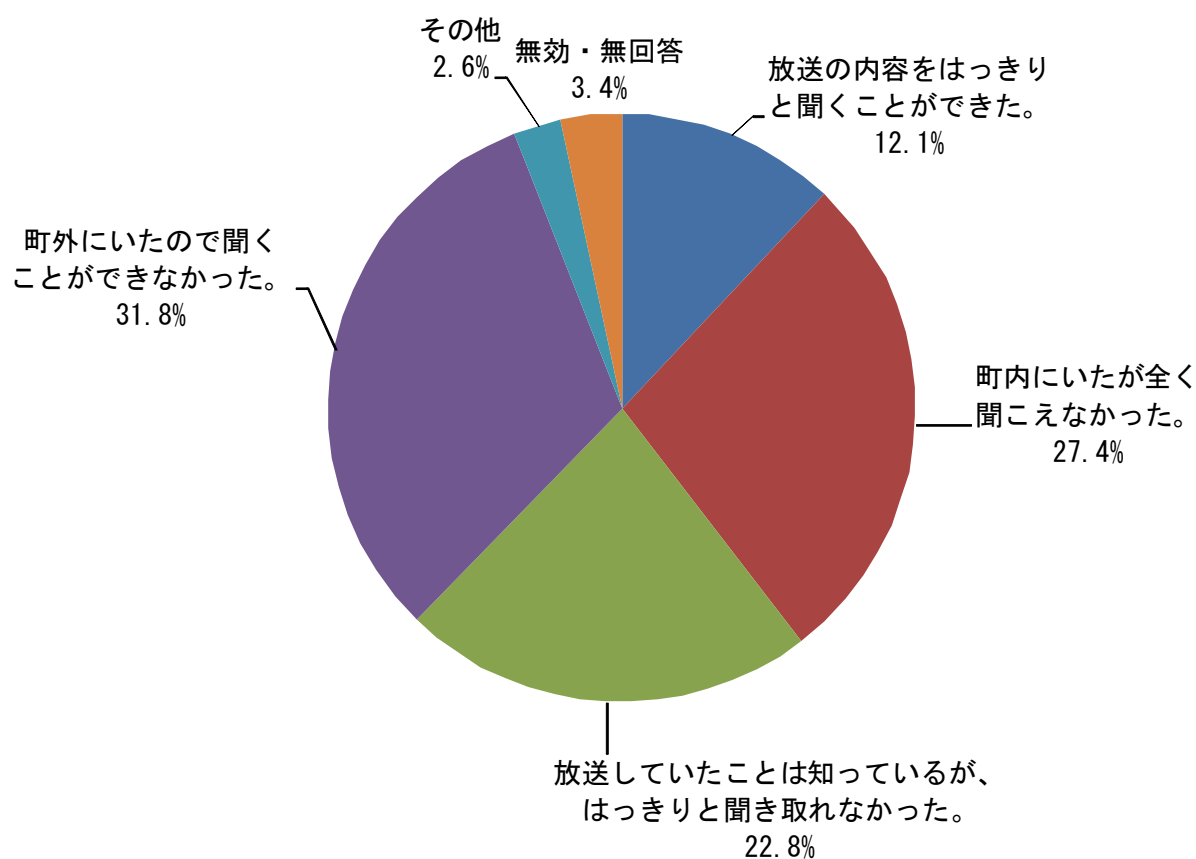
調査結果では「町外にいたので聞くことができなかった」と回答した者が全体の31.8%（236人）、次いで「町内にいたが全く聞こえなかった」と回答した者が27.4%（203人）であった。

聞き取り状況の比較では「町内にいたが全く聞こえなかった」と回答した者が「放送の内容をはっきりと聞くことができた」と回答した者を15.3ポイント上回る結果となっている。

(S A)

	回答数	回答率
放送の内容をはっきりと聞くことができた。	90	12.1%
町内にいたが全く聞こえなかった。	203	27.4%
放送していたことは知っているが、はっきりと聞き取れなかった。	169	22.8%
町外にいたので聞くことができなかった。	236	31.8%
その他	19	2.6%
無効・無回答	25	3.4%
合 計	742	100.0%

N = 742



#### <その他の回答>

ID	Q15その他
50	家の中にいて聞こえなかった。
72	8月8日に放送があったことを知らなかったし、その時どこにいたか覚えていない。
82	知りませんでした。
152	ゆめタウンの中でいたので、町内ですが全く聞こえず、また館内放送もなし。
160	当日は不在でした。
186	何を言っているのか全く聞きとれなかった。
244	仕事で町外でいたので知りませんでした。

ID	Q15その他
269	覚えていない。
319	テレビ
501	放送があったかどうか知らなかった。聞いていたがどうか記憶にない。
540	チャイムだけで何を知らせようとしているのか分らなかった。
575	家にいるので、全然聞こえなかった。
582	買い物（マーケットの中）で居たので聞いていない。
591	おそらく建物の中で音量の大きい中にいたと思う。
620	我が家ではいつの放送もはっきり聞くことが出来ず、何度か聞いているうちにわかってくるという状態です。
665	放送は毎回聞きとれない。

## 8 藍住町に望む防災対策

### Q16 あなたが藍住町に望む防災対策を教えてください。

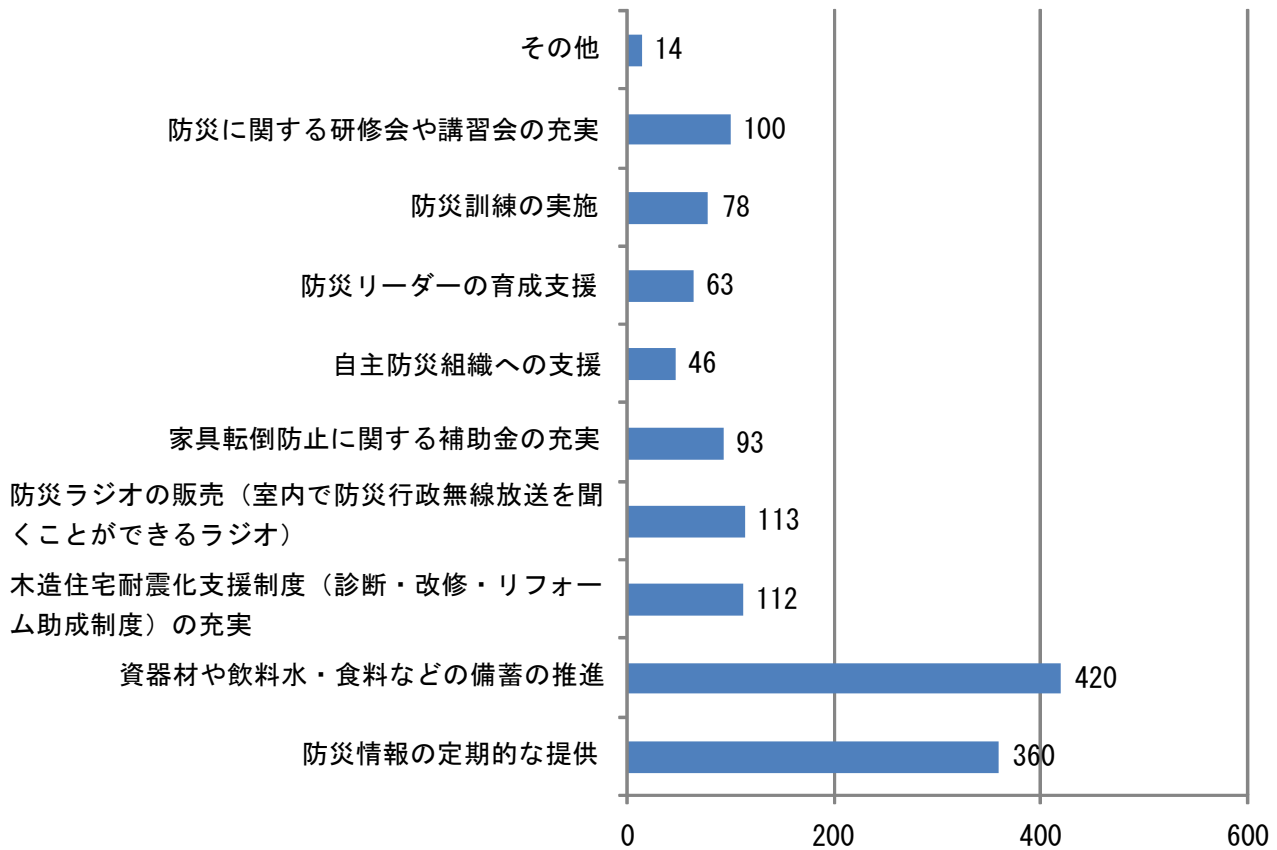
この質問は藍住町に望む防災対策について調査した。

回答者は該当する防災対策を2つまで回答した。

調査結果では「資器材や飲料水・食料などの備蓄の推進」と回答した者が最も多く、420人であった。次いで、「防災情報の定期的な提供」と回答した者が360人であった。一方、最も少なかったのは「自主防災組織への支援」で46人であった。

	(MA) 回答数
防災情報の定期的な提供	360
資器材や飲料水・食料などの備蓄の推進	420
木造住宅耐震化支援制度（診断・改修・リフォーム助成制度）の充実	112
防災ラジオの販売（室内で防災行政無線放送を聞くことができるラジオ）	113
家具転倒防止に関する補助金の充実	93
自主防災組織への支援	46
防災リーダーの育成支援	63
防災訓練の実施	78
防災に関する研修会や講習会の充実	100
その他	14
合 計	1,399

N = 1 3 9 9



<その他の回答>

ID	Q16その他
65	聴覚障害者に対する情報提供手段の構築
118	足が悪いので、前もって連絡し、把握していてくれたらありがたい。
206	津波も大丈夫なくらいの高い建物の確保。各地域で1つは欲しい。
290	高台避難所等の整備（町内主要ポイント）
365	緊急避難袋の販売（道具や食料のセット）
378	避難場所で誰もが同様の支援が受けられるようにしておいてほしい。
381	空家(古い物の)対策。緊急車両の通行できる道の確保
478	②の備蓄ではなく定期的な配布



ID	Q16その他
546	自治会のつながり
571	①貯水タンクの水の配布計画（具体的に、いつ、誰が、どのように） ②休日、深夜、早朝における職員の動員体制
677	持ち出しバッグなどの販売をして欲しい。
678	町内放送の仕方

## 9 防災に関する自由意見

### Q17 防災に関する意見を自由にお書きください。

防災に関する自由意見については249件の意見が寄せられた。その内容は次のとおりである。

ID	Q17自由意見
2	町民の防災意識を高めるよう（自分も含む）
3	8/8沖洲で仕事中に大地震速報をまずは携帯電話で知り、次に防災無線で知りました。電話も通じず、ラジオもテレビも無い中、「あれ？」と思いながらも不安で、帰宅後誤報を知りました。速報も無線も大変ありがたいのですが、何故、誤報だった旨は放送されなかったのかと無責任さを感じずにはいられません。間違いであった旨も放送して安心させてもらうわけにはいかないのでしょうか？後、問題をこの解答用紙に書き写す時、とても判りにくい。書き間違える人もたくさんいるのではないのでしょうか。協力を願うのであれば、どんな人が選ばれても答えやすくして欲しいです。
4	大雨の時、道路が水で川のようにになり困ります。何か対策をお願いします。夜中に起こると暗いので、もっと街灯を増やして欲しいです。
5	①新しい住民が多いことと、これまで大災害を経験していないためか、県外または県内の他の自治体と比べて住民の防災意識は非常に低いように感じられる。静岡県のように多くの住民が消防ホースを持って走れるくらいの訓練が日頃なされてもよいのではないかと思う。 ②南海トラフ地震が発生して津波の恐れがあっても、浸水予測エリアの全住民を今の避難場所で収容することは不可能である。また藍住東小学校にしても館内の床面が低いので、津波の避難場所にはなり得ない。行政においても、内陸数キロまで津波の到達した東北の被災地を視察・研究しつつ、そのシミュレーションを行いながら防災計画を立てて欲しい。
10	町防災行政無線は反響が大きく、ほとんど聞きとることができない。AIテレビなどでも情報を流して欲しい。
13	水害に対してのボートの準備数を多く。農業用水路にフタをした為に増水が多くなったのを改善して欲しい。町内放送、音が大きいだけで聞き取りにくい。
18	災害が発生すれば、避難が「先」であるので、その災害の情報を早く知る為に防災ラジオなどがあれば有効である。
20	まず防災として耐震化（住宅）を進めるべき。古い家屋も多く、倒壊時には避難できない。防災と言っても災害は来るので、その後の取り組みを含め、減災が重要。地域の強み、弱みを分析したうえで、効果的な対策について検討し、周知することが重要。
24	今住んでいる地区の避難経路、場所、方法を知りたい。

ID	Q17自由意見
25	町防災無線はかすかに聞こえる程度で内容はほとんど聞き取れません。内容が分からないのは余計に不安です。すべての人に情報が行き届く配慮をして欲しい。情報を発信する方法を十分検討して欲しい。耳の聞こえない人は、どうやって情報を得るのか？家、会社、避難所、様々なケースですべての人が同等の情報を得られるようにして欲しい。
27	Q 5に対する回答は②だが、取り組む必要性を強く感じている。事前にやっておけることとして、Q 6にある①、④、⑦などがあるが出来るだけ早く実施したいと思っている。自身がやっておくべきことと、記載があるように自治体等が実施していることを明確に知識として、事態が発生した時に行動に移せるように身につけておけるところまでしたいと思う。
30	8月8日の緊急地震速報を職場の上司の携帯電話（エリアメール）で知りました。机の下に隠れるなり、頭を守るなり何らかの行動をとるべきだとは思っていましたが、大地震に対する恐怖感からか思うように動けませんでした（職場の人達も皆一様にじっとしていました）。日頃から「地震はいつ来てもおかしくない」ということを肝に銘じ、冷静かつ迅速に行動できるよう身近な備えからしっかりやっておかなければと思いました。誤報であって本当に良かったと思います。
31	防災無線の活用方法の拡大、利用度数の拡大
36	70歳を過ぎると家の内のことだけしか出来ない。
38	自主防災組織の早期の確立をお願いします。
42	いざ災害が起こった時、自分の周りの事を守りつつ、どうしても受け身な行動しか出来ないと思うので、支援制度に期待せざるを得ないと思います。
43	東中富地区に住んでいます。避難所が西小学校ですが、もしもの時は入りきれないと思われるので学校だけでなく近くの県の建物とか、町の建物を避難所に指定していただきたいと思います。それを全町民に知らせてもらいたいと思います。役場のあたりは複数あるようですが、私の家は西小学校（避難所）まで少し遠いのでよろしく願いいたします。ご検討くださいますようお願い申し上げます。
45	8月8日の誤報は後日判ったが、外で作業する人が必ず情報を携帯電話等で得られるとは限られるものでない。老人等は特に携帯電話は持っていないことが多い。町に望みたいのは、防災ラジオ等の販売に取り組んでほしい。
51	防災研修会や講習会に何回か参加したが町主催（町職員によるもの）では、どちらかというとマクロの話が主で、もっとポイントを絞り具体性のある話にして欲しい。例えば、浸水についても藍住町の地区毎の予想浸水状況を想定、報告して欲しい。1mなのか50mなのか10mなのか・・・
52	東小学校まで徒歩5分の所に住んでいながら避難場所は徒歩15分の東中学校に指定されています。祖父母は足腰が痛く、杖や車イスを利用している状態なので東小学校の避難区域に入れて頂けたらと思います。また、子供が毎日通っている小学校、中学校へ避難できた方がお友達が全員そろって避難できているかどうかの判別がはやいのではないのでしょうか。

ID	Q17自由意見
53	震度6～7以上の地震に見舞われた場合、建物、構造物（ブロック塀）などが倒壊してそれらの物が道路を塞いでしまう。救助の応援を要請しても道路が塞がれて救急車などの車の通行ができない。こうしたことからもっとも大切なことは、自分の体は自分で守ることである。もちろん身近にいる独居老人・障害者らの救助は私達健常者が行うことは言うまでもない。身近に生活している物の責務である。3助のうち特に自助よる防災対策・防災意識を構築しておく必要がある。私が疑問に思っていることは、町の避難場所について、甚大な被害を受けた場合そこまで行くためには道路事情などで困難な場合があると思う。従って、取りあえず安全と思われる所で一時避難をすることも考えておく必要があると思う。※追記：私は震災対策庫としてヨド物置を設置し、発電機、燃料、食糧、衣類などを保管しています。
57	町は平地なので水災が起こった時の対処はどうしたら良いのか分かりません。学校といってもそう高いとは言えないのでは？怖い思いですぐに行動にうつせないのではと心配しています。年寄りにでも安全に避難できる場所を。地震については家の倒壊が怖い。年数が経っている家に耐震支援制度があるのは知っていますが、よっぽど古い家だけです。耐震していない、出来ていない家にも援助してもらえたらと思います。
63	地域の指定避難所までの移動経路、収容人数などの情報を速やかに得られる手段を知っておきたい。町内に合った情報は、公共放送（NHKなど）から得られるのかなど、ふとした疑問に答えてくれるところはあるのか知りたい。
64	災害時に学校に行く道中が大変である。高齢者のため足腰が悪いため十分な対策を願っている。よい方法を考えて欲しい。
65	防災無線、ラジオ等音声による情報は全く聞きとることが出来ないでメールによる情報提供をお願いしたい。県全体の情報より居住地域に限定した情報をお願いしたい。音声より、文字で送信した方が読み返すこともできるので行動に間違いが生じにくいと思う。想定外の災害も想定して、情報ネットワークが崩壊しない強固な施設を作って欲しい。
69	集落会、実行組といろいろあるが、自主防災組織はないので町が音頭をとって組織作りをすべきでないか
71	災害時、ペットの居場所を作って欲しい。避難所には、ペットが入れないと聞いたため。ペットは家族です。
72	防災対策について、知らないことがたくさんあったのに驚いた。備蓄の準備くらいにしか思っていなかった。
75	すごく立派な体育館ができましたが、旧吉野川の堤防の改修工事などが一切されていないのが残念です。
77	大変でしょうが頑張ってください。災害が起きても、もたもたしてる国、地方の行政、頼りにしていませんから御心配なさらなくてください。

ID	Q17自由意見
82	<p>①町は、防災に関する広報に本腰を入れて実施する必要がある。  ②町はこのような意識調査は戸別訪問で具体的に話を聞いて実施すべきである。  ③放送は、何を言っているのか分からない。もっと住民の身になって対策をする必要がある（放送設備の充実）  ④各戸に防災無線を設置して老人対策を兼ねるなど住民の身になった行政の推進をする必要がある。 宜しくをお願いします。</p>
86	<p>藍住町は平野にあるため、浸水時の避難場所（可能な建築物等）がどこがあるのか？はつきりしません。役場や学校といっても、歩いて避難の場合、時間的に可能か分かりません。協力していただける地域の施設などを広報していただけるとありがたいです。県単位のエリアメール等もありますが、町内（？）エリアメールとか、県と各市町村のエリアメール等の連携は大丈夫ですか？</p>
88	<p>老人家庭に防災指導など家庭訪問指導をして欲しい</p>
90	<p>災害用伝言ダイヤルやエリアメールなど何となくわかっているけど具体的には分かっていないのでチラシなど発行して欲しいです。家の目につく所に貼っておきたいのでお願いします。</p>
100	<p>高い住民税払っているのだから、もっと真剣に取り組んでもらいたい。簡単な防災グッズを町民に配布してください。ペットを飼っているが専用の避難所がないのであれば自宅待機します。家の周りの街灯が少ない。至急設置して欲しい。暗い。</p>
101	<p>防災に関する研修会や講習会があれば積極的に参加して、防災意識を高めたいと思った。</p>
103	<p>自分の避難場所の対象人数などが知れたら個人的に備蓄しておかなければならない食糧の量などが計算できるかもしれない（配給制限等）。個人的に記入できる名札のような物の配布があればいいと思う（名前、住所、血液型等が記入できるもの）。市販の防災セットとは別にこれくらいは個人で用意しておいた方が良くと思われるものをわかるようなパンフレット等の配布があればいいと思う。</p>
107	<p>防災無線の放送内容が聞き取れなかったので家の外に出たが、ほとんど内容がわからない。もっと数を増やすべきだと思います。</p>
108	<p>災害時、人間はもちろんですが特に小さい子供（小学生低学年や赤ちゃんなど）やペットをスムーズに避難できるようにお願いしたいです。以前の町内の訓練で、自宅から小学校まで歩いて避難の訓練をしましたが、その時、犬を連れていったのに何の対応もなかったのが残念でした。人間と同じ様に避難が出来て、不幸な動物を増やさない様に検討して欲しいです。お年寄り、子供に対しても少しでも落ち着ける避難場所があればよいと思います。</p>
114	<p>常に危機感を持っていないといけないと思っはいますが、食糧や水もつい品質保持期限をこえてしまっていたりして、気持ちが緩んでしまいます。エリアメールがきた時もドキッと化したものの特に行動はせず、ラジオやテレビで様子をうかがっていました。意識の中に”家族を守る”ことをいま一度確認したり、見つけなおしたりしようと思います。</p>
115	<p>津波がきた時の浸水する地域が分かるような資料を配って欲しいです。</p>

ID	Q17自由意見
117	防災組織、役割分担等何も分らない。周知はしているのかもしれませんがわからない。
118	放送をしっかりと聞こえるようにして下さい。足が悪いので前もって連絡しておけば、その事を把握してくれてたら大変良いと思います。
121	藍住町の平均年齢は確か41才と何かで読みました。しかし、老人が多くなっていくのも確実です。ひとり暮らしの老人にとってこれほど不安はないと思います。起きてはならない災害ですが、こればかりは自然の力であり、だれにとっても不安ですが、まず、地域の人たちの輪、助け合いがあまり感じられないと思います。小さなこの町の心の通い合いがあまり感じられないのがこの町にあると思われる。それが災害となった時、どれほどの力か、人間の温かみのある町であるかが分かると思います。起きてはならない災害ですが、どうぞ町の人たちが心のつながりがいかに活かされていくのかが本当に心配です。
122	東日本大震災を見ていて、結局のところ、市民、町民が団結して復興に力をいれなくてはいけないことに気付きました。政府は当てにならない。そう感じました。今の自民党も無理でしょう。町一丸となって頑張らなくてははいけません。
129	防災に対する意識はあっても、具体的に何をどのようにすればいざという時に役立つか方法を知りません。いろんなケースがあろうかと思いますが、いろんなシミュレーションに添った対策案など告知していただければ更に防災に対する意識レベルが上がります。よろしく願いいたします。
133	東北の地震以来、自分の中の防災意識は高くなったと思いますが、近く、必ずくる南海トラフの地震も意識しているもののまだどこか他人事のような気がします。
140	防災リーダーを出来るだけ多く育成することが最も大切。今のままでは、どうすれば自分の生命を守れるのか分らない。
141	自助、共助、公助の役割。特に自助、共助の範囲は最低どこまで必要か指導が欲しい。
144	各地区にリーダーの育成。防災訓練の実施。仕事があるので休日に町内同日に防災に関する研修会、講習会や避難訓練をお願いします！！
147	私は東日本大震災より毎日地震の事は頭より離れません。県外へ行くときでも薬は必ず多めに持って行ってあります。毎日頭より離れずパニック気味のようなものです。もしきた時どうしようと考えます。地区で避難場所まで訓練はできないものではないでしょうか・・・。自分の体に教えてゆきたいのです。町外では所々で訓練していることが新聞などで見ますが、藍住は大丈夫なんでしょうか？毎日のように気にかかっています。子供達が通学、下校時に起きた場合、どうするか教えて下さっていると思いますが・・・。人間は自分自身にふりかからないと分らないのでしょうか・・・。

ID	Q17自由意見
152	<p>Q15でも回答しましたが、ゆめタウン内（2Fのサンマルクカフェ）に居たところ、ゆめ館内放送もなく、もちろん町内放送も聞こえませんでした。ゆめ内は、非常口らしいものもほぼ見当たらず（1F2か所あるのは見たことがある）、これだけ大きな藍住町一の商業施設にも関わらず、防災対策はどうなっているのだろうととても不安です。8/8、私だけでなく店員さんも普通に仕事をしていたので、店員さんもおそらく地震速報を知らなかったと思います。ですので、「いざというときは、店員さんが指示をくれる」ということは無いようです。ゆめタウン内には、大勢の客、スタッフとして藍住町民が出入りしていると思います。ゆめタウンの住所も藍住町です。藍住町役場から防災対策を指導してもらえないでしょうか？店内の案内マップにも非常時の出入口等の記述は無かったと思います。8/8に本当に地震があったとしたら・・・と思うと本当に怖いです。すぐに改善の指導を出して欲しいです。よろしく願います。</p>
154	<p>老人だから情報が入手できない。身体的に避難がスムーズにできない。</p>
159	<p>藍住町内は土地が低いので、洪水に対する対策に行政がもっと考えるべき。</p>
162	<p>藍住町には山もなくいざ避難となった場合、最寄りの小学校等で対応できるのか？南海トラフは想定外の巨大地震と聞いてます。子供たちにも学校でも防災教育をしっかりとやって欲しい。</p>
163	<p>藍住町は安全な町であると思うか？隣近所の助け合いが防災では大切である。旧住民、新住民等の意識差別をなくして同じ町民として助け合って生活できる町であると自慢できるようにして欲しいし、していきたい。</p>
166	<p>地震や竜巻が発生し、たくさんの電柱が倒れ水道や電気のライフラインが停止した場合には発電機を運転してから最低でもお手伝い用の水が使えてから生活が出来るようにするとか。またそれから多くの住宅がもし損壊した場合には、体育館や集会場又は町施設を利用でき、安心して生活ができますように。また、今後の色々な災害を想定してから対策等を検討して欲しいです。</p>
174	<p>みんなで助け合い、協力すること</p>
175	<p>地震による液状化の被害が言われていますが、実際ピンとこないのが現状です。普段から避難経路や方法を地域で真剣に取り組んでいかなければと思います。</p>
176	<p>お世話になります。今後ともよろしく願います。</p>
181	<p>板野町と藍住町では家具転倒防止の町の補助金が違い、対応するのが難しい。県が一つになり良い対応を進めて下さい。</p>
190	<p>町の方から定期的に防災に関する情報をお知らせしていただいていると思いますが、ちゃんと見て確認できていないのが現状です。何か目を引くような方法はないのでしょうか？でも、きっとなんだかんだ言っても結局は一人一人の気持ちの持ちようなんですよね。このアンケートをきっかけにもっと防災について取り組んでいこうと思います。ありがとうございました。</p>

ID	Q17自由意見
191	子供たちが学校に行っている間に地震、他災害にあった時に学校から生徒の無事の連絡や状況を教えて欲しい。学校にも生徒が1日～2日ぐらい生活できる水他防災用具を備え付けて欲しい。高校は自費ですが、水と軽食、シートなどを各自購入(学校で用意してくれてお金を支払いました)して学校に備蓄してくれています。
193	町報で目にする防災情報ですが、徳島は救援(物資面で)に遅れが出る可能性があるという事を知っています。我が家でも飲料水などの備蓄をしていますが、果たして一人につき何リットルの水が必要で、どの位の食料が要るのか把握できておらず足りているのか分かりません。最低限必要な備蓄量なども絵など交えて教えていただければと思います。また、テレビでしていましたが、「猫のトイレ用の砂を使って用をたす」など、災害時の知恵なども紹介してもらえたら参考になるんじゃないかなと思います。たくさんの方の知恵を共有できたらいいなという時に役立つと思います。
195	緊急地震速報がメールや行政無線で知ることができ、実際に地震を体感してから行動をとるにしても少し地震が収まらないことには、住まいが住宅密集地なので外へ出ては危険極まりないし、家屋が倒壊するような大地震であればなおさらの事だと思います。その間に家の下敷きや家具の下敷き等なども家の中でも危険なので不安が募ります。出入口に防災グッズ等を置いていても、その出口が塞がってしまう事もあるかもしれない。一応は、3日位の食糧や飲料水、懐中電灯、ラジオ、救急用品などですが準備してあります。時間帯においても暗がりの中では非難も大変でしょうから年を重ねるにつれて不安です。
198	避難場所まで行くのに時間がかかり、老人等には無理な場所。近くに高い建物はなく、津波がきたら逃げ場はない。
204	地区の避難場所などもっと知りたい。旧吉野川が近くなので氾濫しないか心配。
206	大地震による自宅の倒壊も心配だが、津波の影響がないかが一番心配。やはり、近くにすぐ避難できる距離に高い建物があれば安心なのですが、この辺りではどこへ逃げればいいのか分からない。この地域の人たちはどこへというように明確に示してもらいたい。あと、ペットを飼っている方もたくさんいるので、一緒に避難できるようにしてもらいたい。東日本大震災でも、避難場所へペットを連れて来ることが出来ず、亡くされた方もたくさんいるので。やはり心のケアの問題も大切だと思います。特に避難場所では、プライベートもない生活が続くので、その際は多少のしきり板の様な物も欲しいです。
209	自分の身は自分で守るようにします。
217	防災知識パンフレットはこれまでのように大まかなものではなく、いろいろな家庭に対応できるような細かい内容にして欲しい。例えば、高齢者のいる家庭に絶対必要なものとそろえ方。必ず全家庭に用意して欲しい物。学校にいる子供たちや会社にいる人との連絡の取り方をいろいろなパターンで等
225	北島町はフジグランに避難できると聞きました。藍住町もゆめタウンに一時避難してもよいのですか(指定避難場所まで遠いので)?自分の地域がどのような備蓄をしているか分かりません。各地域に同じくらい平等に指導して欲しい。近くに消火栓がない!!至急対応して欲しい。住宅街にクリーニング工場があるのは違法と聞いていますが、なぜ藍住町にはあるのですか?



ID	Q17自由意見
230	腰がわるいので急いで逃げられない事が不安（荷物が持てない）
232	藍住中学校の新体育館の外壁が瓦のようだが、地震時落ちたりしないのか？
233	避難場所等、実際に災害がおこって、パニックになった時にすぐに確認できるような携帯式のブックのようなものを全戸に配布して欲しい(玄関に置いておけるような)。藍住町が災害に対してどんな取組みをしているのか、情報として全く入ってこないのが、回覧板等で周知してもらいたい(今まで1回は目にしたことがあります)。
234	他の所から藍住に引っ越してきましたが、新しい住宅地に自治会がないことに驚きました。今、七軒ほどの家が建っている所に住んでいますが、回覧板などもないので近所付き合いもないのでどんな人が住んでいるかなどお隣さんぐらいしか知りません。近所付き合いがないともしもの災害の時に助け合いなどなかなかできないと思います。古くから住んでいる人たちは自治会があると聞きましたが新しい住宅地の人は自治会もないし、自主防災組織があるかどうか知りません。先月、西小学校で地域の防災訓練がありましたが、真夏の暑いときの訓練では小さい子供がいると連れて行けません。災害はいつ起こるか分かりませんが、訓練するならみんなが参加しやすい時季を選ぶのも大切だと思います。
238	藍住町でおこりうる災害をある程度予測し、対策を考えて頂けたらいいと思います。地区ごとの避難場所を知りたいです。
239	いつかは来るかもしれない！と思いながらも危機感が今の所ではなく非常持ち出し袋等準備しながらも、もうひとつ実感が乏しい。頭ではこれではいけないとあの東北の怖さを見ているので思っているのですが……。でもこれから心に関心を持ち計画を少しずつ立て、家族でいろいろな話し合い決めることをきちんとやっておこうと本当に考え始めました。ありがとうございました。
243	私は大家族なので若い者について行動すればよいと思っていますが、皆、家、各違いがあるのでその点調べて通知しておくべきだと思います。
249	私にとって藍住町はとても住みやすく、これからもずっと住み続けたいと思いますので、防災情報の定期的な提供よろしくお願いします。
250	きちんとどこに避難をするのか知らせるべき。足が思うようにならず遠くまで行けない。
256	常に防災意識を持っていないと思っています。でも毎日気にしていても油断した時に災害は来るので非常持ち出し袋くらいは準備しておかないと思っただけは準備しています。
262	災害が起きた際に、曜日、時間帯などいろいろなパターンを想定した対策をたててもらえると混乱が避けられると思う。特に平日昼間は北岸へ移動してしまっている人も多いので、町だけではなく県ともすみやかに連携がとれるような対策をお願いします。

ID	Q17自由意見
263	東日本大震災以降、竜巻や大雨など今まで経験したことのない災害が多く発生しており、不安を感じています。災害に対する意識や関心も自分自身、少しは高まっていると思っていますが、実際はというと先日の避難訓練にも参加できず、”自主防災組織” ”災害時要援護者登録制度” などの内容についてさえよく知らないという現状です。今後もっと自分自身の防災意識をしっかりと持ち、行動にもっていけるようにしたいと思います。
264	藍住の各地域の標高や浸水予想図を地図に示して各家庭に配布して頂くと分かりやすいと思います。
268	こんな調査を行う前に藍住町役場の体制等の取組を変えるべきである。洪水等の床上、床下浸水等の事変が起きようが、連絡、保護等の何の連絡もなく、役場で聞く当方としては役場の方針で何もしないで個々で行ってくださいと言われてあきれて物も言えない。
274	高齢者のため避難方法について、県道を渡らないと行けないので困っております。自動車は使用できないとの事ですので、徒歩では足腰が弱っておりますので無理かと思えます。県道を渡らなくてよい方法を考えておりますか？
279	住宅耐震化支援の補助金について・・・補助金を出して下さい。某紙を見て、「地震時ライフラインの停止で水洗トイレが使えなくなった時に準備しておくトイレ対策」のコーナーで簡易トイレが紹介されていたので、ダイキ・コーナン等を見て回ったがありませんでした。トイレは切っても切れない必要な物！！いいのがあれば紹介してください。
281	いろいろ防災に関して言われていますが、チェックしてみて何にも具体的に出来ていないことに気づき、大変だと思った(知らないことだらけで大変)。緊急時どうすればよいかと不安です。若い物は働きに出ているので老人2人での生活は不安ばかりです。
286	藍住町の一部が津波で浸水するのは何となく知っているが、具体的な地区も知らず、自分の住んでいる所は大丈夫だろうと甘い考えを持っています。防災用品も何をそろえていいのかわからず、全く準備していないのが現状です。避難場所も「役場かなあ」と何となく考えている程度で、こんなことではいけないと思ながらもなかなか防災意識が芽生えないのが本当のところでは。
288	藍住町は人がたくさん集まる施設や店が多いので、それぞれにおける避難訓練が定期的にされていると安心。あとはいろいろな所から移り住んでくる人達のネットワークを広げることと住民自身の意識の持ち方だと思う。
289	自宅の倒壊や損壊で住めなくなった時、年齢的にも建替え修理できるのか？また時間によっては家族がバラバラなので安否確認が早くできるのか？親たちも離れているためどうなのか？いろんなことに不安を感じています。
292	自分がいかに無知かというのを感じる事が出来ました。
293	各自治会、集会所等に飲料水、食糧等々を助成金等を利用し、備蓄しておくとうい。
295	町民放送がエコーが効いて内容があまり聞きとれにくい。
296	情報を正しく伝えて。

ID	Q17自由意見
301	町内で催される老人会の会合や各支部での集会がある時に自主防災についての話しを聞かせて欲しい。高齢者ですので先に立って行動は出来ないけれど、年齢にあった行動が少しでも役立つよう指導して欲しい。
307	よくわかりません。
310	防災については、今後一人一人が意識する事で対策も進んでいくと思います。災害にあった後の対策がどのようになるのかが不安です。東北地方だけじゃなく、その他の地域の方々でも未だに仮設住宅で生活している方がたくさんいらっしゃるのを時々テレビなどで見ますが、自治体だけでは解決できない問題も多いと思います。防災とは最大限「命」を守る事、その対策をきっちり行う事が大事だと思います。その後の対策は出来ていない所が多いと思うので備蓄だけではダメだと考えます。近隣の市町村との連携を常にしておく必要があると思います。
313	老老介護の二人家族のため、自力での避難は極めて難しく、諦めているのが実情です。隣組は16軒ですが空き家が3軒、要介護者宅が4軒とほぼ半数が無力な状況です。
315	実際にどういう災害が起こるかかわからないので、その時はどのような行動をとれば良いのかよくわかりません。もし、起きた時には消防とか町とかが少しでも早く行動をしてくれる事を望みます。
317	わかりません
318	自分は高齢者なので手助けが必要だが、支援して下さるのは不可能でしょうか？お尋ねします。
322	私は身体障害者4級で杖なしでは歩くことができません。地震や災害の時とても不安です。とっさの行動はまず無理です。「ネットワークあい」にアドバイスを知らせてください。よろしく願いいたします。
328	早く連絡網を頼みます
329	私の住んでいる避難所は西小学校なのですが、西小は津波がきた時は大丈夫なのか少し不安です。町の防災無線ですが、窓を閉めていると「何か放送してるな・・・」とは思いますが聞き取りにくいです。窓などを閉めていても聞きやすくして欲しいです。
330	防災放送に限らず、町内放送が非常に聞き辛いです。もっとスピーカーを増設する等して頂きたいです。各家庭に避難箇所、避難ルートを具体的に書いて配布して欲しいです。防災グッズなど（販売していないような物も）具体的に表記するなど配布して欲しいです。
331	災害が発生した時はとりあえず個々に命を守ることを考え、行動をとる事を話し合っている。
332	防災は重要だが、どうやっても被害がゼロというのは無理だと思うので、被害が出た後どうするのかというのを考える事も大切だと思う。（被害が起こった後どうするのかという考えがいまひとつ伝えられていないと思うので）

ID	Q17自由意見
333	震災が起こった当時は、色々気をつけているが月日と共に注意することが少なくなっていくので定期的に防災情報を提供して欲しい。
337	藍住町は防災に万全ですか？正法寺川は大雨ですぐ氾濫しています。この対策が必要だ。町民体育館が立派に出来ましたが、この金はあったのか町長さんに聞きたいです。
338	Q12：町の実施している防災避難訓練とは名ばかりで、あれは訓練ではなく催しである。実際の避難経路や避難方法、またそれらが実情有効なのか検証する必要がある。Q15：町の行政放送は全く聞きとれない。AIテレビなど地域に根ざした情報網があるのに全く活用されていない。緊急時には”放送した”という言い逃れではなく、確実に町民や町内にいる人たちを守る意識でどういう伝達方法が有効なのか知恵を絞って欲しい。Q16：乙瀬・矢上地区は、避難場所が役場もしくは藍中になっているが、津波を考えた時、恐れのある方向へ避難することになる。また、途中で正法寺川がある。しかも距離がある。実情では無理と思う。又、近隣は建売住宅が多く住人との面識もない。防災とは遠い身内より近くの付き合いこそ大事にすべきというのを浸透させるチャンスでもあると思う。
341	藍住町内の指定の避難場所と建屋名のマップ配布。浸水の高さ予測マップの配布（町内全域について）。高齢者や身体障害者への避難の対応についてのBCPの作成、検討を！
343	東日本大震災みたいな津波が来ると想定はしているのか？地震や火事より水害が怖いと思う。阪神大震災時、大阪にいたのだが大阪では電話回線がパンクしており、何度かけても話途中で連絡が取れなかった。連絡体制の整備を考えるととも水害の対策が必要と思う。高い建物がこの辺りに見かけないから少し不安である。
349	自分の住んでいる地域の指定避難所及び位置を知らないので知らせて欲しい。
350	避難所ごとの防災避難訓練がまだ出来ていない地区があるので早急にして欲しい。自主防災組織を作ろうと地区で話し合ったが、集まりが悪かったり意見の違いとかがあり、話が立ち消えてしまった。行政が間に入って話を進めてくれたらもっとスムーズに行くかもしれないと思いました。
351	防災に関する意識の啓発は必要であるが、過度の取り組みは住民に不安を与えるだけである。
354	まず家族内で防災について考え直し、家で出来ることから取り組んでいかなければいけないと思いました。
355	津波があった時、町内でどこまで浸水するのか詳細の情報を持っていない。町内のどの辺りが浸水しやすいのか、また、液状化はどの辺りで発生するのか。情報を提供して欲しい。
356	不安はありますが・・・人間いつどこで死ぬのかは神様しかわかりません。でも心して対策も必要であると考えます。

ID	Q17自由意見
359	災害の体験者、支援経験者のお話を聞く機会があれば、ぜひ参加したい。私事ですが、義姉が阪神大震災の経験者であり、私自身も県南部で南海地震を経験しました。その点から言いますと、どうも机上の絵空事を対策としているように感じることがあります。実体験の人の生きた教材にこそ防災の本質があるように感じます。
361	町内放送などは家族が誰もいないときは役に立ちません。
362	意外と何も知らないことが分かったので、防災に関する情報や知識を教えて欲しい。
364	この意識調査によって知ったことがたくさんありました。これからは今まで以上に防災に対して意識を持っていきたいと思います。
365	結局はただ、避難するだけだと思うし、仕事中に発生した場合ちゃんと家族と合流できるの心配。
369	役場、新聞などで津波がくる地図を見ましたが、あまりにも地図が大雑把過ぎてわかりません。もっと分かりやすい地図を使ってください。
371	Q16より、ジーンズは着水すると脱ぐ。シャツの袖は止めておく。スーツ等は空気を含み浮くので脱がない・・・等々具体的に教えてくれているらしいのが役立つと思いました。
374	防災訓練の実施の推進。古いマンション住まいで、住民は皆さんあきらめムードで何の対策もしていません。防災情報の定期的な提供（チラシ）等の戸別郵送、配布。役場などで防災用品一式購入時の補助金の充実。
378	大雨などによる浸水被害があった時に避難場所がどこであるか一目で分かるような表示をして欲しい。日頃は仕事の都合もあり、町の避難訓練などに参加できていないし、いつ行われているのかも知らないの、いざという時にどこに行けばいいのかわからない。藍住町は浸水により道路が閉鎖されたことがあったので出勤できずに困った。水はけを良くして欲しいです。
381	①空家の古い物が有り、大地震時、倒壊などが予想される。 ②大地震時、緊急車両が入れない場所がある。 ③町内防災無線放送は、音は聞こえるが内容がききとれない。スピーカーの向きが悪いのでは？点検して欲しい。災害時、避難場所など分らない。
385	藍住町は全部水害にあう事を想定した逃げ道、避難所の設定をしてみた方がよいのではと思います。
386	1. 避難時の人間関係の悩み 2. 避難場所の地図などの配布 3. 給食、給水の平等に配布できるのか？
387	準備をしなければと思うがなかなか具体的に出来ていないと思う。
388	藍住子どもフェスティバルで防災クイズがあった。日頃「のどもと過ぎれば・・・」の気持ちですが、子供と一緒に防災を意識することができたので良かったです。

ID	Q17自由意見
401	町内放送は声が割れてほとんど聞き取れません。
404	町防災行政無線ですが、息子はすぐ近くで友達たちといたのですが何か言っているのは分かったようですがよく聞きとれず、妻も自宅にいたのですが分らなかったようで、携帯で分かったようです。
416	各集会所等への飲料水、食糧などの備蓄の推進
417	防災に関する知識向上のため、定期的に繰り返し様々な情報を流し続けることが大切だと思います。
425	何時、何処で起きるか分らない自然災害に自身がどれだけ冷静な行動が取れるか自信が……。運を天に任せるしかない。
426	20年前町内会にて消火訓練をしたことがあります。これを自主防災組織と呼んでいいのか問い合わせますとよいとの返事をいただきました。今年、防災訓練を提案しましたが、住人が年を重ねてきたので意気込みにかけており賛成は難しかったです。消防署が近いしもういいのではないかと意見があり、現在はなにも実施しておりません。
427	町内放送が聞こえにくい。町内で浸水しやすい場所を地図で示して欲しい。(特に土地の低い場所など)
429	まだ他人事として考えているところがあり、意識は薄いように思う。町の行事とかで防災に関する話や体験活動があれば参加していきたいと思うのでいろんな機会があればいいと思う。
435	今まで地震の心配しか正直していませんでしたが、昨今、原発、大雨、竜巻等々地震以外にも思いもよらぬ災害ばかりで、正直何をどうすればいいのか分かりません。とにかく家族の安全、その後自宅が壊れた時の保障が有無での不安がありますが、その時どうするのが一番か防災訓練にも参加し、被害が最小にとどまるよう考えていこうと思っています。町の助けも必要になると思いますので、食糧、住居等の援助にも出来る限りの備えをお願いしたいと思います。
436	防災行政無線で放送したというのが住民に伝わらなくては何の意味もない。放送したからそれでよし、では本末転倒である。放送も伝わってこそ意味がある。音として聞こえても言葉として伝わらなければ責任逃れにすぎません！
437	災害時の状況（今どうなっているのか）防災無線で発信。被害時の支援の充実（藍住町独自）。消防等の人数確保。町外が勤務先なので、家族の状況それぞれの地区の被害情報がわかるシステムを構築していただきたい。農地に家が建っているが液状化による建物は大丈夫なのか？それに伴い避難経路は確保できるのか？一人で生活している方の基礎資料（老人）。防災グッズの提供などや防災時のマップ、Q&Aのまとまった冊子を作成してください。
438	東日本大震災直後は、避難の準備（水など）をしていましたが、賞味期限が切れたりしてそれからは準備が出来ていません。小さい子供がいるのでいろいろ用意しようと思うとすごい荷物になりそうです。暇な時間があれば準備をしたいと前から思っていますが、今の私には忙しくて出来ません。そうも言ってもらえないので、少しずつしていこうと思っています。

ID	Q17自由意見
444	避難場所が指定されていますが、緊急時指定場所以外の所に避難する可能性もあると思いますが受け入れてもらえるのでしょうか？
445	津波浸水マップを地区や自宅、避難経路の浸水度がわかるように配布すべきだ。どの道を通れば津波の被害に合わず避難できるのかわからない。今年中に各家庭に配布して下さい。災害時要援護者登録制度もすべての家庭に周知すべき。対象者や登録方法の情報も全くない。避難所の学校は夜間や休日でも避難できるように地震直後にドアが開いているのかも疑問。
448	健康で過ごせるよう努力しています。防災訓練の実施をお願いします。
449	地震、竜巻、洪水・・・不安なことばかりですが、これといった防災はしてなくてそんな日がやって来たらどうしよう・・・。その時に自分に何が出来るのかどんなふうに行動できるのか考えてしまいます。
457	道路、歩道の整備：道路が行き止まりになるところが多く、住宅街で路上駐車をよくしているので緊急車両が通れない。歩道は幅が狭くアップダウンが激しい。用水路の整備が出来ていないので増水すると道路との境が判らなくなり落ちる。9/4大雨の時に思ったが、災害時、緊急時には「AIテレビ」を活用できないだろうか？我が家はずっとNHKテレビをつけっぱなしにして情報を得ていたが、藍住限定の情報ではないため不安が多かった。（道路状況、川の増水状況など）こういう時こそ「AIテレビ」で藍住の状況をリアルタイムでずっと知らせて欲しい。視聴者からの写真や動画をアップしてもらえればより具体的に状況が分かる。
461	日中は家族全員が町外に出ているので、災害発生時どのような状況なのか情報を入手できるか心配です。テレビ、ラジオでは大まかな情報や特に被害が大きい所しか分からないので、何としても自宅に戻ろうとするかもしれません
463	木造住宅耐震化は良いとは分かっているがそれに伴う資金にゆとりがない。また、高齢のため緊急の場合一人住まいで何が出来るか不安です。
464	地域毎の避難場所は小学校、中学校などは分かりやすいが、民間施設等（高いマンションなど）数多く設定をお願いしたい。（PRを含め）
475	地域ごとの避難場所を何度も教えて欲しい。
479	道路事情が悪すぎる。農業用地の問題もあると思うが、道幅を広げ路面状況を良くし、排水性を上げるべきである。人車分離を促進し、交通弱者を守るべき。側溝党や灌漑設備を見直す。学校教育を充実し、子供にしっかり意識させる。災害初期に無意識のうちに自助出来る能力を身につけるためには、幼少期からの訓練が大切と考える。
480	冠水地帯の水はけの方法を考えて欲しい。

ID	Q17自由意見
482	役場から100mと離れていない所に住んでいますが、いつも放送は何を言っているか分かりません。不鮮明でよく聞き取れません。しかも窓を閉めていたらなおさらです。市町村によったら各家庭に放送が聞こえる機会が設置されていると聞きました。是非、検討して下さい。Q12の避難場所ごとの防災避難訓練は知りませんでした。周知はどのような形で行ったのでしょうか？新聞をとっていないのでそういうものにも伝達方法を考えて頂けたらと思います。
483	防災に関する研修会や講習会の充実を強化をお願いします。
484	町職員の苦労は大変かと思いますが、どうか万全の対策をとって頂けますようお願いいたします。
485	レンコン畑であった土地の液状化の心配はないのか？
486	南海トラフ巨大地震による災害への対応とともに最近、異常気象により頻発する大雨等が徳島県を襲った場合、吉野川本流、特に「第十堰」周辺の堤防決壊により、藍住町内の洪水被害が大変心配されるので、見直しを進めている「藍住町地域防災計画」の中に反映していただきたい。
495	頑張ってください。
496	防災意識のなさを感じました。危機管理室が分かりやすい基本情報を出して欲しい。最低限90%の家庭が取り組める事は、災害によつての避難場所、防災用具、連絡先。
498	防災に関して、具体的な知識を身に付けたい。
499	避難場所の数を増やして欲しい。1つの避難場所でまかなう地域や人数が多すぎる気がする。小さい子供を連れて避難するのにおむつなどの荷物を持って逃げるのは厳しいので、備蓄の中におむつも追加してもらえるとありがたい。
500	8月に防災訓練がありましたが、思っていたほども人の集まりはなかったように思います。もっと地域の人たちを巻き込んでの訓練をした方がいいのではないのでしょうか。
501	実家では（池田町）防災ラジオではないですが、地域の情報など流れる電話機が各家庭に置かれています。速報がテレビで流れても、テレビをつけていないと分からないし、携帯電話を持っていない方や子供にはわからないので、同じ様な物を提案して欲しいです。避難所はどのように調べたらいいですか？小学校か中学校かあやふやなので家族で再確認したいと思いました。保育所、幼稚園、小、中学校に行っている間、何かあったらどこに避難しているのか？親はどこに迎えに行けばいいのか教えて欲しい。
507	周囲は、新しい住宅地が多く、子供たちが学校で防災訓練を行っているなどの情報は知っているが、ご近所同士の防災訓練、連携などは知らないなので、実際の災害時には親が混乱しそう。人口も増えており、休日に子供、親を交えた訓練を行ってはどうか？学校からの訓練参加の通達などあれば、親も参加する率が高くなるのではないか？



ID	Q17自由意見
515	8月8日携帯で地震速報を知りましたが、取るべき行動が分からず何もできませんでした。もし本当だったらと思うとぞっとします。町民一人一人がどうすればよいのかマニュアル化し、それぞれが今、何をすればよいのか意識の徹底を図るべきだと思います。また、近所付合いを密にし、いつでも連絡が取れるようにしておいた方がよいと思います。
519	治水の設備が不十分で道路が浸水し、車が通行できないことがよくある。今後の気象状況の変化を考えると津波や豪雨に対応出来ない地区であり、とても不安である。また、浸水の際に避難できる高度の避難場所もない。また災害時以前に道路は混んでおり、遠方への避難（障害者、老人）は困難である。
520	大変ですがおねがいします。
522	先日の大雨時でも道路冠水区域が多かった。避難時に大雨であれば側溝と道路の境が分からないので不安である。
523	道路が低く水害の出る恐れがある場所、道路等を点検、整備して欲しい。
532	障害者、老人などの弱者に対する対策を具体的に考え、周知してもらいたい。
533	藍住町に高台が少ないので、やぐらというか高大の避難所を多く造って欲しい。
534	3・11復興予算の他府県の無駄遣いはあってならないことだと思います。防災対策予算も有効であるよう願っております。
535	他市町村では、もう何回も防災訓練を行っていますが自分の地区ではまだ1回もしていません。町内で順番に実施しているようですが、早く実施して欲しいと思います。防災訓練をする以上、本格的に考えて欲しいと思いますし、避難経路も地区によりそれぞれ徹底して決められた場所へより早く行けるようにして下さい。とにかく早く防災訓練の実施を要望します。
538	排水がうまくいくようにして欲しい。土地の低い所は浸水した時に大変です。浸水しない道路、町を目指して欲しいです。
541	8月8日のチャイムは聞こえましたが、音色によって種類が違うのですか？
546	排水設備を増やして欲しい。道路が川のように困る。
550	地震速報に限らず、町内放送の内容がはっきりと聞き取れない。もう少しわかりやすい放送をして欲しい。
554	学校等の子供達に詳しく教えてください。
567	テレビ等で地震、津波に関する情報はよく見るが、この藍住町の地震、津波に関する情報はさっぱり入らない。テレビ、ラジオ等で情報が入るようにして欲しい。また、近年多発している竜巻に関してもこれからはもっと多発すると思われるので、情報があれば欲しい。（対策等）

ID	Q17自由意見
569	この地区の避難場所がどこか、どうやってそこまで行くのかもっと詳しく教えて欲しい。安全な建物もなく、誰もそのような行政をしてくれない。
571	今回の調査に関して、総合的な調査からは常識的な結果しか得られない。的をしぼって、たとえば、液状化の対応について現在町が考えていることを明らかに示し、それについて町民の意見を聞くようにすればまた、新しい知見が得られるものと思う。この調査結果の公表と調査から分かった町民の不安、心配に対して町はどう対処しようとしているのかを明らかにされたい。
575	藍住町は「防災」の事は全然分からないのかな？と思っている。
579	最も気になるのは液状化現象です。土を掘ると砂地になります。砂の地盤が地震の衝撃で流れ、水の圧力の変化で水が動いて砂の粒が噴き出す情景を想像すると冷や汗が出ます。ただ、平成17年に大腿骨を手術し、今年初めに左の半月板を痛めている私にとっては避難所まで子供たちが手を引いて連れていくことは無理でしょうからたとえ津波が発生しても逃げないと決めています。寝ていて起き上がるまでに10分くらいかかります。ですから運を天にまかせて逃げないでいようと思います。
582	171は知っているが、使用していないのでわからない。南海トラフ巨大地震とさげばれている中、一番身近な自主防災の組織がなく心配している。各地域で高齢者が多い近所同士の交流を深める為にも是非組織結成を希望する。
586	一人暮らし高齢者の安全確保については、非常に不透明である。助けに行く余裕があるだろうか？自分の事で精一杯になるのではないだろうか？近所の方に頼むのは負担ではないだろうか？足、腰が弱いながらも自宅での生活を希望される後期高齢者への不安は拭いきれないでいる。
587	防災マップをもっと詳しくきめ細かく。
591	避難する施設はどちらも遠い。近くの民間の施設等にとりあえず逃げ込めるように（高層の施設等）してもらえたらと思います。
601	関東地方で大きな竜巻があったとちょうどニュースで見ました。地震、竜巻は本当にいつ起こるか分らず怖いです。
603	避難場所の確認を詳しく知りたいです。食糧や飲料水の備蓄を家庭に置けるよう少しでも安くまとめ買いができるセットを作って欲しい
612	高い場所等（ビル、高い場所）の避難先の情報提供。津波の浸水予想地区。役場からの放送は家の中では地区によってはほとんど聞きとれず（携帯のメールがよい）
616	正法寺川がよく溢れる。千鳥ヶ浜は土地が低く、川が氾濫した時に逃げる場所がない。コーナンに囲まれている。以前に氾濫した時にも何の知らせもなかった。情報がないのが一番怖い。また、夜間の誘導等があればいい。河川の境目がわからない。ものすごく不安です。

ID	Q17自由意見
617	まず自分を守ることが大事だと思う。出来る事から一つ一つでも心がけたい(防災用品、水、食べ物等を準備しておく事)。それから家の倒壊が心配。家の倒壊により命を落とすことが無いようにしたいが、震度7とか6に耐えることは難しいと思う。
620	地震などが起こって一番困るのはトイレです。災害時にこんなこと言っている場合ではないとは思いますが、お風呂は何とか我慢できてもトイレが汚いのは気分的に落ち込みます。
621	その時になってみて自分がきちんと出来るかどうか心配です。
622	高額な体育館を建てるより防災対策(水、食糧の確保)をして、「藍住町の皆さんは安心して下さい！」ってぐらいにして欲しい。町民体育館の”かわら”は地震で落ちないのか？体育館の建築費半分を避難所までの道路(学校までの通学路)等を整備するのに回してくれたらいいのに！子供と一緒に学校まで歩いて下さい。危ないデコボコ道路が多いですよ！よく火事かなと思うくらい野焼きが多く、においと煙が道路にきて視界が悪く困る時がある。
629	自主防災組織は知りません。近所に住んでる人、一緒に住んでいる人たちが高齢化しているので、そういう事を教えてくれるような防災訓練などあったらいいと思う。地区ごとでもいいので。
635	意識はあっても長続きせず忘れた頃にやって来そうです。
637	木造住宅耐震支援制度はかなり自己負担金がかかり、お金がない人は耐震レベルまでの工事はできません。書類を揃えたのに残念です。負担金を増やして欲しい。建て替えをした方がましだと思いました。
641	Q8地域の自主防災組織はありますか？にあると答えたが、昨年か今春か忘れたが地域の会合(多分総会だったと思う)で防災委員を定めたが、その後防災についての活動は一度もしてない。テレビ、ラジオで少しは知っているがあまり危機感をもってない。防災について知識を具体的に教えて下さい。
642	台風や大雨が続くと家の周りの道がすぐ冠水する為、排水処理の迅速化、道路の補修を強く願う。
644	町内放送が聞きにくいので、改善をお願いします。
649	町内の自治会で防災組織について討論が行われています。組織を作るかどうか決定していませんが出来る限りの協力はしようと思っています。
650	前に町内で防災訓練があった時、何十分もしてからダラダラと自転車や歩きで避難してた人達を見かけたり、知ってても訓練に参加してなかったりで、訓練の意味がなかったように思う。放送も聞こえにくかったし、もっと町の方も真剣に厳しく徹した方が良く思う。自治体でも定期的に強制での訓練を行う仕組みが必要だと思う。
651	障害者がいるので、団体生活が出来ないため車の中で過ごすようになる。(食糧や飲料水の情報がわからない。薬を服用しているのでそれに対しての情報。トイレの問題。)

ID	Q17自由意見
657	Q15にも書いたのですが、町内無線は全然わからない。窓を閉めていた時は特に放送した事も分からず意味がない。携帯に一斉放送送信するとか(学校のように町民が登録して)色々考えて欲しい。私自身もまだ危機感が薄いと思うけど、何をどれぐらい用意したらいいかあまり分からないし、金額が高すぎて困ってしまいます。
661	主人と息子は公務員で震災支援に行き、私と足の不自由な祖父だけになってしまうので、どうやって避難所に行こうかと不安です。私は血液透析をしているので、病院までどうやって行ったらいいか透析病院の問い合わせなど役場のどなたに相談すればいいのかなど心配なことがあります。避難所が倒壊していたらどこに行けばいいのか？
664	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聴力の低下に伴い情報が聞きとり難しく、従っての行動が遅くなる（日常の努力）。</li> <li>2. 区割りによる避難場所遠く、隣の区域の指定場所が近く道路も歩きやすい指定場所であればダメなのか？</li> <li>3. 吉野川と旧吉野川に挟まれた旧吉野川には堤防が無い。出水の時冠水する場所と道路、これらの情報が欲しい。</li> <li>4. 南海トラフの巨大地震で津波が来るといわれるが津波の勢力はどれくらいか？言葉通りの浸水と考えて良いのか？</li> </ol>
666	地震は毎年ないけど、雨は1年中で不安である。
667	災害時の被害を出来るだけ軽くするよう出来ることから一つずつ進めていきたい。
674	アンケートを回答していくと、災害に対して不安はあるのに何も準備が出来ていないことに気がついたんです。もっと関心を持ち、いざという時の備え等をしなくてはいけないなと改めて感じました。
675	避難所の指定で公共建物だけではなく、近くの高層マンションが利用できればよいと思う。
677	子供が生まれて家族も増えたので、不安はやはりあります。持ち出しバッグも十分に用意できていないので、これから準備していこうと思う。8人分の水だけでも大量になるので考えていかなければならないと思っています。
678	災害時にどのように行動をすればよいか、自宅にいる時にはまず自宅内のどこに避難をするか等、家族と話し合いをしています。まず、情報を知る事が重要だと思います。藍住町の場合は、屋外のスピーカーより放送があり、状況を知る方々も多いと思います。スピーカーからの放送が聞きとりづらいつらいつらとかよく耳にします。また、火災時の放送などあればよい等・・・。どうか改善をお願いします。他の町では、屋内（家の中の家族が集まる部屋）にスピーカーを設置しているところもあるそうです。資金の都合もありますので、一個人の意見としてお聞きください。
682	仮に災害があったとして、全員が避難所に行ける訳ではない。そのような人（やむなく自宅にとどまる人）にも公平に物資が行き渡るしくみ作りが必要だと思います。東日本大震災で避難所に行った人と自宅で残った人との間に支援の格差があったと聞くので、そう思います。

ID	Q17自由意見
685	避難場所の位置を周知して欲しいを思います。(自分が援助できるとすれば活動できる)。防災に関する研修又は講習会の機会があればよい。
693	先日あった洪水などの被害にあいやすい場所(あるいは低い地域)などを優先的に町のホームページなどにのせるなどして避難場所だけをタウンページに書くのではなく、より安全な位置を示してくれるとありがたいかなと思う。
698	緊急避難場所の地域毎の明示を増やす。避難時に持病を持っている人の薬(インシュリンとか)を確保できるような行政の対応が出来るようお願いします。
706	一人で居る時の避難に不安がある。避難場所は分かっている、子供にも言っている(東中学校)。物事に冷静になれず、パニックになってしまいそうで心配である。
707	定期的に防災訓練をしていることは重要であり、今後も継続して行っていただきたい。
709	自主防災組織とか詳しい内容を教えて欲しい。地域にはないので作って欲しいと思います。
713	コミュニティタウンあいずみの防災コミュニティマップ”自分の命は自分で守ろう”災害時避難場所が藍住東小学校が藍住北小学校になっていた。印刷のミスかチェックミスか分らないが、総務課の対応に疑問。防災担当の方よろしくお願いします。発刊について町長も挨拶をしておりますよ!真面目な対応を!制作協力として書かれていたのですからもっと最新の注意を・・・。
719	報道や町の広報、その他である程度意識はあるものの、そのうちにといい気持ちも正直あります。実際に起こってしまった時のことを考えると何から手をつけて良いやらする事はいろいろと大変です。家の倒壊、津波、液状化など・・・でも町にお願いした事は山も高層ビルも少ない所で避難所や規模が少なすぎないでしょうか?役場周辺には多いのですが、全員をとて確保できないように思います。御一考下さい。
720	震源地に行って地震があまり起こらないように科学か何かで食い止める的なものや行動で起こりにくくして欲しいです。そしたら災害も少なくなるかもしれません。
721	Q3, 4, 16と2つだけを選択するのは難しいものばかりでした。Q12については、詳しく知らないものもあり、このアンケートを頂いて良かったと思いました。今年度の防災避難訓練に参加しましたが、とても良かったと思います。ぜひ、ずっと続けてもらいたいです。災害はいつ起こるか分らず、対策には手間も予算もかかりますが、個人力だけではどうにもならないこともたくさんあると思います。どうぞよろしくお願いします。
725	必要最低限の物資を藍住町で確保しておいて欲しい。
726	近い将来に来る大地震は心に留めているけど、まだ危機感が弱く、反省する感が強い。認識不足を改めなければと思うところです。

ID	Q17自由意見
727	備蓄等は各家庭で進んでいると感じる。避難場所、経路の周知に取り組んでいただきたい。
730	藍住に引っ越してきてあまり近所付き合いもないので、防災訓練とかあっても分からないことが多い。地域にも詳しくないので避難場所も名前は分かっても、場所が分からなかったりもするので、調べておかないとなと思った。あと、町内放送が時々流れるが、声がこもった感じなので非常に聞き取りにくい（特に男の人の時）。「何か流れているなあ」と思うぐらいで、内容までは難しい場合が多いので、ちゃんと聞きとって理解できるようにして欲しいです。（場所は勝瑞西勝地付近）
731	ペットはどうなりますか？
733	9月4日の大雨の日、冠水場所があるとの情報が（家族より）入ったが、職場よりのルートで帰宅可能かが分からず渋滞にまきこまれた。町のホームページ等で情報があればよいのではないかと思う。AIテレビの情報は、不十分だった。
736	水害に対する排水インフラの整備
739	災害は思いがけずやって来ることを認識し、新聞やテレビなどの情報を参考に食糧や飲料水を備え、一週間程度は自助努力で生活できるよう心掛けたい。本当に災害に遭遇した場合は、まず自分が助かることを考えて避難行動をとりたいと思う。東日本大震災の体験者が言っていた「てんでんこ」は自分勝手ではなく被災者を一人でも減らすための大切な心得と思われる。1週間が過ぎて混乱が落ち着いたら、公的機関からの援助をお願いしたい。
740	以前にあった有線電話の様な防災放送が聞ける物を各家に設置して欲しいです。金額的に全面は無理と思いますが希望家庭にだけでも望みます。町の防災放送は、近くになく、響いて聞こえません。
741	藍住町には山地がなく、津波に対して不安を感じている住民が多い。平地部を流下する河川がほとんどであるため、各河川の排水対策について万全を期す。

## IV まとめ

防災に対する関心度では回答者全体の87.9%が「関心がある」「どちらかと言えば関心がある」と答えており、防災に対する関心度の高さがうかがえる。しかし一方で、防災への取組については「取り組んでいる」と回答した者が42.2%と半数以下であり、関心度と比例していないのが現状である。

次に自主防災組織については69.1%の者が「知らない」と回答しており、災害発生時の基本となる共助について強く不安を感じる。

今後、防災対策の基本となる自助や共助について、その必要性を住民に対して十分に説明し、個人の備蓄率の向上や自主防災組織の結成率向上に努める必要がある。

これらの結果から現在の状況をまとめると、防災に対する関心は高いが、実際には取り組んでいないのが現状である。

次に防災行政無線であるが、8月8日に緊急地震速報が防災行政無線を通じて町内に一斉放送された。その時の状況調査の結果では、放送を聞き、「すぐに自分の身の安全を確保するための行動を起こした」と回答した者は、わずか11.9%であった。被害の拡大を抑えるためにも地震発生時の初動の説明等を住民に対して十分に行わなければならない。

また、「町内にいたが全く放送が聞こえなかった」と回答した者が27.4%と高い率を示しており、今後、その対策を十分に行わなければならない。





## V 参考資料（調査票・回答用紙）



# 藍住町防災意識調査

町民の皆さまには、日ごろから町行政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、本町では、南海トラフの巨大地震など、大規模災害発生時に迅速な対応ができるよう藍住町地域防災計画の見直しを進めています。

今回の調査は、本町にお住まいの皆さまから防災に関する御意見や御要望をお伺いし、今後、策定する防災に関する様々な計画の基礎資料を収集することを目的としています。

調査の実施にあたっては、平成25年4月1日現在、満20歳以上の町民の方、2千人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。

なお、御記入いただいた内容は無記名の上、すべて統計的に処理しますので、回答者の個人情報が特定されることは一切ありません。

御多用中とは存じますが、調査の趣旨を御理解いただき、調査に御協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年8月

藍住町長 石川 智能

## <記入上の注意>

- 1 回答は送付した封筒の宛名の御本人がお答えください。
- 2 回答は同封の回答用紙に御記入ください。
- 3 回答の数は設問ごとに指定していますので、必ず御確認ください。
- 4 回答が「その他」の場合はその内容をできるだけ具体的に御記入ください。

御記入が済みました回答用紙は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、平成25年9月17日（火）までにお近くのポストへ投函してください。

## アンケートの問い合わせ先

藍住町総務課危機管理室

T E L : 6 3 7 - 3 1 1 1

F A X : 6 3 7 - 3 1 5 4

E-mail : soumu@town.aizumi.tokushima.jp



## 1 基本的事項

F 1 あなたの性別を教えてください。

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 男性      ② 女性

F 2 あなたの年齢を教えてください。

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 20歳～24歳      ② 25歳～29歳      ③ 30歳～34歳  
④ 35歳～39歳      ⑤ 40歳～44歳      ⑥ 45歳～49歳  
⑦ 50歳～54歳      ⑧ 55歳～59歳      ⑨ 60歳～64歳  
⑩ 65歳～69歳      ⑪ 70歳～74歳      ⑫ 75歳～79歳  
⑬ 80歳以上

F 3 あなたのお住まいの地区を教えてください。

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 奥野      ② 徳命      ③ 富吉      ④ 東中富  
⑤ 乙瀬      ⑥ 笠木      ⑦ 勝瑞      ⑧ 住吉      ⑨ 矢上

**F 4 あなたの藍住町での居住年数を教えてください。**

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ① 1年未満       | ② 1年以上5年未満   |
| ③ 5年以上10年未満  | ④ 10年以上15年未満 |
| ⑤ 15年以上20年未満 | ⑥ 20年以上25年未満 |
| ⑦ 25年以上30年未満 | ⑧ 30年以上      |

※上記の質問は、平成25年7月31日までの居住年数を記入し、月数が6か月未満の場合は切り捨て、6か月以上の場合は1年に切り上げてください。

<例>

平成10年1月1日～13年3月31日 藍住町で居住（3年3か月居住）

平成13年4月1日～18年12月31日 他市町村で居住

平成19年1月1日～25年7月31日 藍住町で居住（6年7か月居住）

3年3か月+6年7か月=9年10か月→10年居住

この質問は継続して本町に居住した年数ではありませんので御注意ください。

**F 5 あなたの同居する世帯員の人数を教えてください。**

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

※回答者本人を含めた人数の番号を選択してください。

- |      |      |        |      |
|------|------|--------|------|
| ① 1人 | ② 2人 | ③ 3人   | ④ 4人 |
| ⑤ 5人 | ⑥ 6人 | ⑦ 7人以上 |      |

## 2 防災に対する関心度

Q 1 あなたは防災について関心がありますか。

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 関心がある
- ② どちらかと言えば関心がある
- ③ どちらかと言えば関心がない
- ④ 関心がない
- ⑤ わからない

Q 2 東日本大震災以降から現在まで、あなたの防災意識はどのように変化していますか。

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 東日本大震災直後より防災意識は高くなっている
- ② 東日本大震災直後より防災意識はやや高くなっている
- ③ 東日本大震災直後より防災意識はやや低くなっている
- ④ 東日本大震災直後より防災意識は低くなっている
- ⑤ 東日本大震災直後とほとんど変わらない
- ⑥ わからない

## 3 災害に対する不安

Q 3 あなたが不安を感じる災害は何ですか。

(該当する番号を2つまで選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 地震
- ② 大雨
- ③ 河川の氾濫による浸水
- ④ 落雷
- ⑤ 竜巻
- ⑥ その他(具体的に )

Q 4 南海トラフの巨大地震が発生した場合にあなたが不安と感じることは何ですか。

(該当する番号を2つまで選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 自宅の倒壊や損壊
- ② 家族・親類・知人の安否の確認手段
- ③ 電気・水道などのライフラインの停止
- ④ 食料や飲料水の確保
- ⑤ 正確な情報の入手方法
- ⑥ 避難所での生活
- ⑦ 津波による浸水被害
- ⑧ 地震による液状化被害
- ⑨ 避難経路や避難方法
- ⑩ その他(具体的に )

#### 4 防災対策

Q 5 あなたは防災対策に取り組んでいますか。

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

① 取り組んでいる

② 取り組んでいない

Q 5の質問で「① 取り組んでいる」と回答した方



Q 6以降を回答

Q 5の質問で「② 取り組んでいない」と回答した方



Q 7以降を回答

Q 6 あなたが取り組んでいる防災対策を教えてください。

(該当する番号をいくつでも選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 食料や飲料水の備蓄
- ② 食料や飲料水以外の物資の備蓄
- ③ 避難所の確認
- ④ 家具の固定
- ⑤ 家族や親類等との連絡方法の確認
- ⑥ 地域の防災訓練・活動への参加
- ⑦ 住宅の耐震化
- ⑧ その他（具体的に ）

## 5 自主防災組織について

Q 7 あなたは自主防災組織とは何であることを知っていますか。

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 知っている
- ② 知らない

Q 7の質問で「① 知っている」と回答した方



Q 8以降を回答

Q 7の質問で「② 知らない」と回答した方



Q 12以降を回答



Q 6 あなたが取り組んでいる防災対策を教えてください。  
(該当する番号をいくつでも選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 食料や飲料水の備蓄
- ② 食料や飲料水以外の物資の備蓄
- ③ 避難所の確認
- ④ 家具の固定
- ⑤ 家族や親類等との連絡方法の確認
- ⑥ 地域の防災訓練・活動への参加
- ⑦ 住宅の耐震化
- ⑧ その他（具体的に ）

## 5 自主防災組織について

Q 7 あなたは自主防災組織とは何であるかを知っていますか。  
(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 知っている
- ② 知らない

Q 7の質問で「① 知っている」と回答した方



Q 8 以降を回答

Q 7の質問で「② 知らない」と回答した方



Q 12 以降を回答

Q10 あなたは地域の自主防災組織に何を期待しますか。

(該当する番号を3つまで選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 災害時に支援が必要な人の把握と援助
- ② 避難の誘導
- ③ 防災組織の普及活動
- ④ 災害時における救援・救出活動
- ⑤ 給食・給水活動
- ⑥ 防災訓練等の実施
- ⑦ 初期消火活動
- ⑧ 防災用具の整備・点検
- ⑨ 家具固定等の普及・指導
- ⑩ その他(具体的に )

Q10を回答した方



Q12以降を回答

Q11 あなたが地域の自主防災組織に加入していない理由は何ですか。

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 自主防災組織のメリットがよくわからないから
- ② 近所付き合いがないから
- ③ 災害時に機能すると思えないから
- ④ 災害時に手助けを必要としないから
- ⑤ 加入の方法がわからないから
- ⑥ その他(具体的に )

## 6 防災に関する知識

Q 1 2 次の用語の意味や内容を知っていますか。

(次の(1)～(9)の各項目ごとに知っているものには「①」を、知らないものには「②」を回答用紙に記入してください。)

- (1) 災害時要援護者登録制度を知っていますか。
- (2) 藍住町の一部が津波浸水区域に想定されていることを知っていますか。
- (3) 自分が住んでいる地域の指定避難所の位置を知っていますか。
- (4) 南海トラフ巨大地震に関する被害想定(人的被害・建物被害)の概要を知っていますか。
- (5) NTTの災害用伝言ダイヤル(171)の使用方法を知っていますか。
- (6) 防災に関する「自助」「共助」「公助」のそれぞれの役割を知っていますか。
- (7) 木造住宅耐震化支援制度(診断・改修・リフォーム助成制度)を知っていますか。
- (8) 昨年度から藍住町が避難所ごとに防災避難訓練を実施しているのを知っていますか。

## 7 災害情報の入手方法

Q 1 3 あなたの災害情報の入手方法を教えてください。

(該当する番号を2つまで選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 防災行政無線
- ② インターネット(パソコン・携帯電話)
- ③ 自主防災組織
- ④ テレビ・ラジオ
- ⑤ その他(具体的に )

## 8 緊急地震速報

Q 1 4 8月8日に気象庁の緊急地震速報が町防災行政無線、携帯電話のエリアメール、テレビ、ラジオ等を通じて発表されましたが、その放送等を見たり、聞いたりして、まず最初にあなたはどのような行動をとりましたか。

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 放送を聞いたが、とるべき行動が分からず、何もしなかった。
- ② 放送を聞き、とるべき行動は分かっていたが、何もしなかった。
- ③ すぐに自分の身の安全を確保するための行動を起こした。
- ④ すぐに周辺にいた者に避難を促した。
- ⑤ 携帯電話等で家族や友人などに緊急地震速報があったことを知らせた。
- ⑥ 緊急地震速報が発表されたことを知らなかった。
- ⑦ その他(具体的に )

Q 1 5 8月8日の気象庁の緊急地震速報は町防災行政無線で町内全域に放送しましたが、その放送内容は聞き取れましたか。

(該当する番号を1つだけ選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 放送の内容をはっきりと聞くことができた。
- ② 町内にいたが全く聞こえなかった。
- ③ 放送していたことは知っているが、はっきりと聞き取れなかった。
- ④ 町外にいたので聞くことができなかった。
- ⑤ その他(具体的に )

## 9 藍住町に望む防災対策

Q 1 6 あなたが藍住町に望む防災対策を教えてください。  
(該当する番号を2つまで選び、回答用紙に記入してください。)

- ① 防災情報の定期的な提供
- ② 資器材や飲料水・食料などの備蓄の推進
- ③ 木造住宅耐震化支援制度（診断・改修・リフォーム助成制度）の充実
- ④ 防災ラジオの販売（室内で防災行政無線放送を聞くことができるラジオ）
- ⑤ 家具転倒防止に関する補助金の充実
- ⑥ 自主防災組織への支援
- ⑦ 防災リーダーの育成支援
- ⑧ 防災訓練の実施
- ⑨ 防災に関する研修会や講習会の充実
- ⑩ その他（具体的に ）

## 10 自由意見

Q 1 7 防災に関する意見を自由にお書きください。

### 自由意見

記入は回答用紙へ

アンケートは以上で終了です。  
御協力ありがとうございました。



## 回答用紙

F 1	F 2	F 3	F 4	F 5

Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5

Q 6はQ 5で「① 取り組んでいる」を選択した方だけが回答してください。

Q 6						

Q 6 (その他 : 具体的に)						

Q 7

Q 8はQ 7で「① 知っている」を選択した方だけが回答してください。

Q 8

Q 9はQ 8で「① ある」を選択した方だけが回答してください。

Q 9

Q 10はQ 9で「① している」を選択した方だけが回答してください。

Q 10		

Q 10 (その他 : 具体的に)		

Q 1 1はQ 9で「② していない」を選択した方だけが回答してください。

Q 1 1	Q 1 1 (その他 : 具体的に)

Q 1 2							
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)

Q 1 3	Q 1 3 (その他 : 具体的に)

Q 1 4	Q 1 4 (その他 : 具体的に)

Q 1 5	Q 1 5 (その他 : 具体的に)

Q 1 6	Q 1 6 (その他 : 具体的に)

自由意見 (防災に関する意見を自由にお書きください)